

交流情報誌

季刊

新往来

第34号 2009.9.18

【特集】農林水産物直売所を核とした取組事例をご紹介します！



聖籠町観光ぶどう園
新潟県北蒲原郡聖籠町

農林水産省

農林水産物直売所を核とした取組事例

・・・ 3

- 身近な相談窓口を開設 (茨城県東海村)
- 青大豆「行田在来」が半世紀の時を経て復活!! (埼玉県行田市)
- 下田農業ふれあい館 (千葉県千葉市)
- 道の駅八王子滝山 (東京都八王子市)
- 聖籠町観光ぶどう園 (新潟県北蒲原郡聖籠町)
- ふるさと産品直販所 黒竹の里 びかいち (和歌山県日高郡日高町)
- 活発な連携活動で、直売所が元気!
(福岡県 朝倉地域農業改良普及センター)
- 徒歩圏内マーケットの農海産物直売所 (熊本県荒尾市)
- 地元野菜・果物等直売店、フードバル熊本「とれたて市」
(熊本県熊本市)

- 農産物直売所「杜の穂倉」 (宮崎県高原町)
- 高齢者の農業への参画～我が家自慢の直売所～ (宮崎県椎葉村)

わがまち自慢

・・・ 6

- 日本初、あおもりカシスを使った発泡酒「あおもりカシスドラフト」完成 (青森県青森市)
- 日本百景・狛鼻溪が生んだヒーロー六魂戦隊 ゲイビマン (岩手県一関市東山町)
- 市内中心部での出前産直市 (岩手県釜石市)
- さ夢来くん(さむらいくん) (東京都板橋区)
- 食を通じて商店街の活性化を! 「食べ長良川(たべながら)」ブランド (岐阜県岐阜市)
- 近江上布伝統産業会館 (滋賀県愛荘町)
- 天川村ふれあい直売所『小路の駅てん』遂にオ-ブン(奈良県天川村)
- 「広島市国民宿舎湯来ロッジ」がリニューアルオープンします!
(広島県広島市)
- きなはいや伊方へ「金太郎いも編」 (愛媛県伊方町)
- 目指せ! 魅力ある直売所 (愛媛県大洲市)
- 干拓地のシンボル旧郡築新地甲号樋門 (熊本県八代市)
- 九重「夢」温泉郷 (大分県九重町)
- 九重「夢」大吊橋 (大分県九重町)
- 財光寺農業小学校 (宮崎県日向市)
- 「マンゴーの里豊見城」宣言 (沖縄県豊見城市)

わがまちの旨いもん

・・・ 10

- まちの農産物で新商品開発 (北海道十勝郡浦幌町)
- 赤貝どん (宮城県名取市)
- 大栄愛娘(サツマイモ)、伊能歌舞伎米(コシヒカリ)、甘芋ん(あま~いもん)(サツマイモ) (千葉県成田市)
- まごちゃ (千葉県勝浦市)
- 勝浦タンタンメン (千葉県勝浦市)
- おいでねんせの会~勝山に来てみとっけの~ (福井県勝山市)
- 料亭の女将さんがおススメするお店を紹介!! (岐阜県)
- これぞ食の極み! ぎふの味・伝承名人 (岐阜県)
- 人間空海ゆかりのまち「健康一番名物料理・特産品」
(岐阜県本巣郡北方町)
- フワフワでモチリしたドーナツ (愛知県犬山市)
- 地元食材をアイデアどんぶりに! (愛知県田原市)
- 深蒸し煎茶を「のんでんか」 (三重県松阪市)

- 下田なす (滋賀県湖南市)
- 秦荘のやまいも (滋賀県愛荘町)
- 地場産酒米のどぶろく「原いっばい」 (大阪府高槻市)
- あすかの麦茶 (奈良県明日香村)
- どぶろく工房ちょびっと (愛媛県内子町)
- もう食うシカない (高知県香美市)
- 日本一ユズのまち (高知県香美市)
- 佐賀のうまい米ナンバーワン「天川コシヒカリ」 (佐賀県唐津市)
- 「おにぎり」ならぬ「おぎ(小城)にり」!? ~小城流スローライフ~
(佐賀県小城市)
- 食べてびっくり「青いのに甘い」みかん (熊本県津奈木町)
- 九重「夢」バーガー (大分県九重町)

私達、輝いています

・・・ 16

- イベントでの直売初体験! 昇~うづら~
(北海道深川市、妹背牛町、幌加内町)
- 明るい声の響くパイプハウスの直売所(まめの会) (埼玉県蓮田市)
- 女性農業者グループ「みちくさ会」が直売所で夏野菜料理の試食イベント (東京都日野市)
- 大地からの贈り物レインボーグループ (滋賀県安土町)
- 愛荘町生活研究グループ (滋賀県愛荘町)
- 京都府生活研究グループ連絡協議会が「京ごちそうさま お母さんの味」を自費出版 (京都府)
- 「印南野そば倶楽部」3人娘!? (兵庫県加古郡稲美町)
- 『山の神、川の神の棲む、ふるさと斉木を賑やかに! 晴れやかに!』
(兵庫県宍粟市)
- 農村加工所「まんま実~や」~未来に伝えたいふるさとの味、子どもに伝える母の味~ (福岡県古賀市)
- 元気いっばいのおばあちゃん7人ユニット、『G A B B A』(ガバ)
(佐賀県武雄市)
- 下村婦人会の「市房漬」本場の本物に (熊本県湯前町)

交流・連携通信

・・・ 19

- みかん狩りで都市農村交流~ライス・ハウス・かわなべ~
(埼玉県春日部市)
- ながおか援農システム「大地まるごと学」 (新潟県長岡市)
- 「原産日野の日野菜を食べる会」と「記者会見」を開催
(滋賀県日野町)
- 田舎暮らしワーキングホリデー開催中!
(和歌山県東牟婁郡那智勝浦町)

Let's農業

・・・ 20

- 十和田農業体験連絡協議会「十和田で農家体験」
(青森県十和田市)
- 定年帰農者による「あやめ雪」栽培 (茨城県笠間市)
- 食と農の学校 越前浜教室 (新潟県新潟市)

アンテナショップ

・・・ 21

- 八街市推奨の店「ぼっち」オープン! (千葉県八街市)
- 産地直送『新鮮・いすみの朝市』 (千葉県いすみ市)
- 愛荘町の鉄道の玄関先愛知川駅コミュニティハウスーぶる愛知川
(滋賀県愛荘町)
- 道の駅オープン (福岡県香春町)

わがまちのユニーク施策 . . . 2 2

- 宿場町の風情を！「御高駅舎」をみんなでなおそう！
(岐阜県御高町)
- 長久手町田圃バレー交流施設「あぐりん村」 (愛知県長久手町)
- 農遊フェスタ (滋賀県愛荘町)
- 豊かな自然がいっぱい!!宅地分譲「グリーンビレッジ平野」
(熊本県和水町)

イベント情報 . . . 2 4

- 平成21年10月～12月までの期間に全国各地で開催が予定されているイベントの情報

農村振興局からのお知らせ . . . 3 8

- 愛媛県内子町での景観法(景観農業振興地域整備計画)活用に向けた取組
- 表紙の写真
聖籠町観光ぼうどう園
(新潟県北蒲原郡聖籠町) p 4

【特集】農林水産物直売所の取組

農林水産物直売所を核とした取組事例をご紹介します。

身近な相談窓口を開設

茨城県東海村

JAひたちながが運営する農産物直売所「東海ファーマーズマーケットにじのなか」が6月5日オープンいたしました。県内のJAが運営する直売所としては最大規模の売り場面積を誇り、生鮮野菜、花卉及び加工品などが販売されています。村では直売所を単なる物販施設ではなく地産地消の拠点として位置づけ、農業支援センターを設置しました。センターでは住民の方から栽培相談や新規就農相談などのほか、家庭菜園の小型管理機等の無料貸し出しなど幅広く業務を行っています。直売所に出荷する方や買い物に来る地元の消費者の方など直売所を利用する方が利用しやすいように、土日も開所して身近な相談窓口として業務を行っています。自治体が民間の集客施設内に農業に関する相談窓口を併設することは県内でも初の試みとして注目を集めています。

青大豆「行田在来」が半世紀の時を経て復活！！ 埼玉県行田市



青大豆「行田在来」を農家や県・市、大豆加工業者が協力して半世紀の時を経て復活させました。

スタート当初、加須農林振興センターや農林公社とも相談しながら、「行田在来」の栽培方法や加工品の試作を繰り返し「生粋豆腐」を開発・商品化、農協の直売所で販売しました。

豆の味が濃く美味しいと評判になり、口コミとマスコミによって行列のできる豆腐となりました。その後、「行田在来」は、豆せんべい、豆おこわ、みそ、ゼリーフライ、大豆まんじゅうに加工され、新たな客が直売所に押し寄せ、売り上げアップに大きく貢献しています。

今年、斎条地区と谷郷地区で特別栽培農産物として、2人の生産者が大型機械により9ha作付けしました。

枝豆としても味は絶品で、枝豆収穫体験にも取り組んでいます。「これからも行田在来を使って四季折々の加工品を開発し、直売所をもっと盛り上げ、地域農業の活性化につなげたい」と関係者は意気込んでいます。

<http://www.city.gyoda.lg.jp/>

下田農業ふれあい館

千葉県千葉市



千葉市では、都市部と農村部を結ぶふれあい交流拠点施設として「下田農業ふれあい館」を開設し、昔から伝えられてきた食文化を次の世代に継承し地域の農業を守り育てる取り組みを行っています。

この施設は、毎日地元農家が一生懸命つくった、安全・安心・新鮮な農産物を販売する「しもだ農産物直売所」と、地元食材を活用し、郷土食をベースにした体にやさしい料理を提供する、バイキング形式のレストラン「ふるさと薬膳“澁(みお)”」で構成されています。

千葉市では、地域の元気・活力があふれる場所を目指すとともに、この施設を活用して積極的に地産地消と食育に取り組んでいます。

<http://shimodafreai.town-web.net/>

道の駅八王子滝山

東京都八王子市



平成19年4月に都内初の道の駅としてオープンした「道の駅八王子滝山」は、年間100万人を超える来場者をお迎えし、連日賑わいをみせております。

施設の中核である、地元の元気農家153名で構成する農産物直売所「ファーム滝山」は、新鮮な地場野菜を中心にリピーターも多く、地産地消の拠点として高い人気を誇っています。

また、フードコートは、地元の食をたっぷり味わえる、くつろぎの空間となっており、交流ホールでは、八王子の魅力の発信基地として週末には道の駅指定管理者と農産物直売所出荷組合の連携による物産展や体験教室などの各種イベントが開催されています。

「道の駅八王子滝山」では、四季折々の野菜達が皆様のお越しを心よりお待ちしております。

<http://www.michinoeki-hachiouji.net/>

聖籠町観光ぶどう園

新潟県北蒲原郡聖籠町



新鮮で甘いぶどうの生産をモットーとして、1988年にオープン。

エコファーマーの22農家が合計9haの農園を8月下旬から11月上旬まで開園しています。

入場無料でご自分で摘み取ったブドウを買い取っていただくシステムです。お土産用に直売・地方発送もしています。

<http://www.van-rai.net/seiro-kanko/>

ふるさと産品直販所黒竹の里 ぴかいち

和歌山県日高郡日高町



日高町は、質・生産量ともに全国一を誇る、黒竹の町です。町内の原谷地区にある、ふるさと産品直売所「黒竹の里 ぴかいち」では、様々な黒竹の民芸品が販売され、和歌山県の「ほんまもん体験」メニューのひとつである「黒竹民芸品づくり体験」もできます。

黒竹は、繊維が細くて柔らかく、割れにくい素材なので、昔から釣竿や家庭用品など、生活に密着した日用品として利用されてきました。また、天然の艶と風雅さから、建築・家具等の装飾材として、生垣や庭園の植込み用としても珍重されています。

当直売所では、黒竹商品の他にも、「黒竹の里」のきれいな水で育った“ぴかいち米”や旬の農産物、生芋から作った愛情いっぱいの手作りこんにやく、町内の阿尾漁港で水揚げされた新鮮な魚を絶妙な塩加減で仕上げた干物等も好評販売中です。今後も、地元産品の情報発信や、人々の交流の場としての役目を果たしていきたいです。<http://www2.w-shokokai.or.jp/hidaka/>

活発な連携活動で、直売所が元気！

福岡県 朝倉地域農業改良普及センター



朝倉普及センター管内では、農産物直売所における共通課題の解決に努めるため、平成13年から「朝倉地域農産物直売所連絡協議会」を発足し、情報交換会や研修会を開催しています。昨年9月には「農薬の適正使用と生産履歴記帳」について研修会を開催。2月には、「こだわり農産物とこれからの直売所」と題しマーケティング等に関する講演を開催。また、協議会は消費者に安全・安心な農産物を提供するため、直売所の新しい動きや情報収集等を随時行っています。

現在、今年4月にオープンした筑前町のファーマーズマーケットを含め、21組織が加入しています。

平成21年度は「売れる直売所づくり」をテーマにした講演会を企画するなど、魅力ある農産物直売所を目指し活動していきます。

<http://www.h3.dion.ne.jp/~ama-asa/>

徒歩圏内マーケットの農海産物直売所 熊本県荒尾市



交通手段が乏しいお年寄りの日々の暮らしを助け、商店街の空き店舗対策としても有効な、徒歩圏内を主なマーケットとする農海産物直売所。地域の方々の熱意により、このような直売所が市内に3店舗生まれ、それぞれの地域に根差して頑張っています。

市内南東部にある直売所「ありあけの里」。この地域には、日用品を扱う店がほとんどなかった上、市内でも高齢化が進んだ地区で、徒歩圏内マーケットが成立する要件を備えた地域でした。この直売所を運営する組合の構成員の平均年齢が70歳以上なら、お客さんも7割が地域のお年寄りです。気心の知れた人々が自然と集まり、買い物そっちのけで、和やかにお喋りが始まります。この直売所では、有明海で獲れた新鮮な魚貝類も販売しており、地元の食材を十分に楽しめるよう努めています。

今後、お年寄りの1人暮らしが増える中で、単なる直売所ではなく、「ありあけの里」のような地域コミュニティ施設としての役割を担う農海産物直売所は、注目的になるパイ。<http://aoken.biz/>

地元野菜・果物等直売店、フードパル熊本 「とれたて市」 熊本県熊本市



地元農産物を安く、おいしく食べてもらおうと、平成9年に全国初の生活者交流型食品工業団地である「フードパル熊本」内にオープン。地元生産者との連携により、その日に採れたばかりの野菜・果物等を直売しています。

地元生産者は農産物の生産や加工食品（総菜）作りに専念し、周年供給（毎日出荷）を行ってもらい、店舗側が専門的立場から経営にあたり、安全安心な農産物販売及び広告宣伝を実施しています。

また、食品管理システム導入後は、店舗内の在庫状況が地元生産者に即時に分かるようになり、売り切れ品等の補充が容易に行え、需要・供給のバランスを常時保っています。

平成20年には経済産業省・農林水産省の農工商連携88選にも選定され、今後は更に地元農業者との連携を図りながら、生産者から消費者までが満足できる店舗づくりを目指していきます。<http://www.foodpal.net>

農産物直売所「杜の穂倉」 宮崎県高原町



天孫降臨伝説の地である霊峰「高千穂峰」を朝夕に仰ぎ、その雄大な自然から湧き出る清らかな水に囲まれ、肥沃な土壌に恵まれた高原町花堂（はなどう）区。

この花堂区が「地産地消」で町おこしを図ろうと、農事組合法人「はなどう」を立ち上げ建設を進めてきた農産物直売所「杜の穂倉（もりのほくら）」が完成し、平成21年7月5日にオープンしました。

この直売所の建設には、奉仕作業や土地、木材、資材の提供など組合員全員が何らかの形で携わってきました。

直売所内では、地元の新鮮な野菜や果物、米、そして地元で採れる麦から作った味噌など豊富な品々が販売されています。

「はなどう」では、この直売所をはじめに、今後、古民家を利用したレストランや宿泊施設も整備することになっています。

これからも新鮮でおいしい農産物や加工品などを心を込めて提供していくとともに、この直売所から地域の元気を発信していきたいと、関係者の夢が広がっています。

高齢者の農業への参画 ～我が家自慢の直売所～ 宮崎県椎葉村



椎葉村は、宮崎県西北部九州山脈の中央に位置し、国見岳、市房山など九州屈指の秀峰をはじめ、標高1,000mを超える山々が連なる山岳重畳の地です。

総面積の96%が山林であり耕地面積が少ない本村ですが、400m~1,000mという標高差や夏季冷涼な気象条件を活かして様々な作物が栽培されています。

平成18年8月には、農林産物を取り扱う村の直売所「八菜館(やさいかん)」ができ、椎葉の青果物や加工品が多く出荷されてきます。

高齢化が進む椎葉村ですが、現在は出荷登録者数117名で、家族で食べるより少し多めに栽培した畑自慢の作物が「八菜館(やさいかん)」へ集まります。野菜や花、ソバ・ヒエ・アワなどの雑穀類、加工品では、村の特産品である「こんにゃく」や「あくまき」、「菜豆腐」などが店頭に並びます。

我が家の畑自慢、腕自慢を出荷することで、高齢者の農業への参画が広がり地域農業の活性化にもつながっています。

わがまち自慢
 全国で唯一のもの、自称日本一のもの、ぜひ知ってもらいたい活動や人など、地域からの自慢情報を紹介します(人(グループ)、施設、風景、自然、生き物などジャンルは問いません)。

日本初、あおりカシスを使った発泡酒「あおりカシスドラフト」完成
青森県青森市



日本一のカシス生産量を誇る青森市で、カシスを使った日本で初めての発泡酒「あおりカシスドラフト」が完成しました。

「あおりカシスドラフト」は、カシス生産者団体「あおりカシスの会」が、下北郡大間町の「バイコードリンクB・Sブルワリー」の協力を得て製造し、市内「道の駅」などで販売しているほか、レストラン、飲食店などでも提供されています。

「あおりカシスドラフト」は、フルーティーな香りとカシスならではの色合いを併せ持ち、独特の苦味とすっきりとした味わいのビタータイプと、綺麗なピンク色で飲みやすく女性に人気のパールタイプの2種類を用意しています。全国の皆様、ぜひ一度、あおりカシスを使った「あおりカシスドラフト」をご賞味ください。

【希望小売価格】 350ml 1本600円

【問合せ先】青森市あおり産品販売促進課「あおりカシスの会」事務局 TEL:017-734-5335

**日本百景・狛鼻溪が生んだヒーロー
 六魂戦隊 ゲイビマン**

岩手県一関市東山町



日本百景・名勝「狛鼻溪」から名前をいただき、「日本の元気は地域から！」をスローガンに掲げ、まちの活性化のため、地域の交流を深め、心にゆとりと潤いを、地域に元気と活力を与える。また、日本を代表する観光地「狛鼻溪」のPRも併せ、一関の交流人口の増加を図る。そんな夢に向かって地域を盛り上げていく集団です。

メンバーは、東山町の保育園に通う園児の父親で、子供を喜ばせたいと立ち上がり結成されました。

当初は、地元保育園の運動会にて自前のキャラクターショーを披露し喜ばれていましたが、スケールの大きさとソコソコの完成度が見ている父兄の皆様を魅了し「父親の凄さ」を改めて感じさせたことが、家族や他の父親に感動を与え、口コミで市内全域に広まり各地のイベントに参加するようになりました。

現在は、地域のイベントを始め保育園や老人ホームなど、多数出演しています。

<http://geibiman.web.fc2.com/>

市内中心部での出前産直市

岩手県釜石市



釜石市の中心市街地内において、商店街と産直グループの協同による産直市を2箇所で開催しています。

【土曜日】毎月第1、3土曜日に浜町1丁目商店会と只越町商店街振興組合及び市内の農家の方とが、市営ビル1階の空スペースを活用し、物産市を開催。

【大町水曜日】毎月第2、4水曜日に大町商店街振興組合と市内のほとんどの産直グループの皆さんが、市内中心部の青葉通りにおいて青空市を開催。

どちらの産直市も、市内中心部に住み産地直売所になかなか出かけることのできない高齢者の方々に大変喜ばれています。また、対面販売による産直の方々とのお話も楽しみの一つとなっており、市ではお客様と産直の方々とのお話や笑顔が絶え間なく見られ中心市街地の賑わいの創出につながっています。

さ夢来くん(さむらいくん)

東京都板橋区



さ夢来くん(さむらいくん)とは、第6回板橋製品技術大賞審査委員賞を受賞した、電動苗巻取機と簡単自動移植機です。

さ夢来くん(さむらいくん)は電動苗巻取機でリールにテープを使い苗を巻き取り、その巻き取ったテープを苗自動移植機で畑に高能率で植えつける事ができる農業機器です。現在の農業では菊類、宿根草類、ネギ等の苗の移植作業は大半が手作業で行われています。その移植作業にさ夢来くん(さむらいくん)を使用することにより農作業が高能率化します。この高能率化で日本の農業の活性化や農業改革が促進されていくものと確信しています。

(板橋製品技術大賞とは、板橋区内の中小企業による優れた新製品・新技術を表彰することで、板橋区内企業の開発力・技術力を広く内外にアピールし、板橋区の産業振興を図る事を目的としているものです。)

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/010/010835.html

食を通じて商店街の活性化を！ 「食べ長良川(たべながら)」ブランド 岐阜県岐阜市



岐阜市商店街振興組合連合会では、地産地消の推進と商店街の振興のため、商店街うまいもんプロジェクトを進めています。

岐阜市の特産品である枝豆やホウレン草を、「減圧乾燥」という特殊な方法で乾燥させ、一年中供給できるようにし、商店街加盟の飲食店で新メニューの開発をしました。

この6月には「食べ長良川(たべながら)」ブランドとして、各飲食店が工夫を凝らした新メニュー(料理からスイーツまで)の提供や、岐阜市のおみやげ品として、枝豆ふりかけ「豆菜かな(まめなかな)」、枝豆やホウレン草を練り込んだうどん「岐阜 緑のイケ麺」の販売を始め、好評をいただいております。

今後は、多くの岐阜特産の農産品の中から使用する食材を増やし、安心・安全なメニューや商品を商店街を訪れた皆さんに楽しんでいただくとともに、活力ある商店街にしていきたいと頑張っています。

問合せ 岐阜市商店街振興組合連合会

TEL: 058-262-1415

<http://www.chuokai-gifu.or.jp/sishoren/>

近江上布伝統産業産業会館

滋賀県愛荘町



500年以上の歴史を持つ近江麻布は、近江商人によってエコな繊維を使用した上質な麻布「高宮布」として、全国にその評判をもたらしてきました。その「高宮布」の伝統を引き継ぐ近江麻布は現在でも愛荘町、彦根市あるいは東近江市など湖東地方で生産されています。

近江商人が、こよなく愛し、天然植物繊維として今改めて注目されている麻ですが、麻栽培体験や麻布を使った小物作り、あるいは麻布生産現場(工場)の見学などのメニューなど匠の技と知恵が体験できるのは近江上布伝統産業会館のみ。

本物に出逢ってこそ、その価値がわかるというもの。そんなこだわりのあなたにぜひお勧めします。

近江の麻布を使って、“パリコレ”ならぬ“麻コレ”にも参加してみませんか。

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmiasa/>

**天川村ふれあい直売所『小路の駅てん』
遂にオープン！ 奈良県天川村**



紀伊半島のほぼ中央部に近畿の屋根と称される大峯山系の近畿最高峰八経ヶ岳（1,915m）をはじめとする峯々等自然に囲まれた高地に天川村はあります。

村の活性化と交流の拠点として天川村ふれあい直売所『小路（こみち）の駅てん』を本年5月1日よりオープンしました。

ここで販売される商品は、平成19年度より村の特産品発掘・地域活性化のため実施した、「天川村おみやげ大賞」に出展され商品化されたものが中心で、刺身こんにゃくや山椒みそ、吉野葛、お餅、朴の葉すし等多数です。7月より天川産野菜の販売も始まりました。

<http://www.vill.tenkawa.nara.jp/topics/sightseeing.php?page=2>

**「広島市国民宿舎湯来ロッジ」
がリニューアルオープンします！ 広島県広島市**

広島のお宝として多くの人に親しまれてきた、歴史ある名湯・湯来温泉に、平成21年11月1日に「広島市国民宿舎湯来ロッジ」がリニューアルオープンします。

新しい施設には、充実した温浴・宿泊施設に加え、観光案内所、交流サロン、調理実験室、屋外ステージなどを配置した湯来交流体験センターを整備し、地元の野菜、果物などの販売や「こんにゃく」や「ハーブ」の栽培体験などを予定しています。

両施設とも、利用日の6か月前から予約が可能となりますので、ぜひ、ご利用ください。

<http://www.yuki-lodge.com/top.html>

**きなはいや伊方へ「金太郎いも編」
愛媛県伊方町**

私たちが暮らす伊方町は、リアス式海岸独特の変化に富んだ美しい自然と、温暖な気候が育む実り豊かな四国最西端の豊予海峡に突き出した佐田岬半島に位置しています。佐田岬の“秋の味覚”といえば、瀬戸地区育ちの『瀬戸金太郎芋』。

見た目は金太郎のようにもりもり力強い姿で、中身は甘あ〜くて美味しい〜と評判で、栗（九里）より（四里）うまい十三里と言われる金太郎いも。

古くから岬十三里と呼ばれている佐田岬は、極めておいしい「甘藷（かんしょ）」の産地です。そんな『瀬戸金太郎芋』の収穫体験をして、収穫する喜び、土とふれあう喜び、そして美味しいものを食す喜びを瀬戸アグリトピアで体験してみてください。はよきははいや伊方へ。

<http://www.town.ikata.ehime.jp/>

**目指せ！魅力ある直売所
愛媛県大洲市**



平成22年春の大型直売所オープンを目指して、運営主体の愛媛たいき農業協同組合が中心となって、出荷者の募集、育成を図るなど、施設の整備と併せて準備を進めています。

当市には小規模の直売所が点在しているものの、生産者、消費者の満足を十分に満たせる施設が存在していなかったため、この度、大洲市と愛媛たいき農業協同組合が連携して、大型の農林水産物直売所を整備することとなりました。

現在、各地区で出荷者募集のための説明会や、加工品開発のための講習会を開催し、オープンに向けた準備を進めています。

この直売所の整備により、消費者に安全・安心な食材を提供できることはもとより、生産者も適正な価格で農林水産物を販売できることで所得向上につながるとともに、直売所を核として、学校給食、福祉施設等への食材提供や、地元農業高等学校による加工品の販売など、地域が一体となって地産地消に取り組む体制づくりを目指して事業推進にあたっています。

<http://www.ja-ehimetaiki.or.jp/keizai.php>

**干拓地のシンボル旧郡築新地甲号樋門
熊本県八代市**



豊表の原草となる「い草」の生産日本一を誇る八代平野は、その大半が江戸時代以降の干拓でできた土地です。遠浅の八代海の干潟を堤防で閉め切り、石造の樋門から排水を行う干拓が数十度繰り返され、肥沃な農地へと成長しました。

この郡築甲号樋門は、明治37年に当時の八代郡によって完成した「郡築新地」の遺構で、大小の砂岩の切石を垂直に積み上げた構造（組積造）で、樋門本体の下部には10連のアーチ状通水部分があり、一見眼鏡橋に似た外観です。

樋門は高さ5.6m、幅5.2mで、長さ33.1mで、現存する明治の樋門としては全国最大の規模です。

また、当時の石垣による堤防も1kmにわたって残っています。

この甲号樋門と堤防は、八代海干拓事業の代表的遺構として歴史的に価値が高く、精巧な石積み技術が発揮された、技術的完成度の高い、明治を代表する干拓樋門であるため、平成16年に国の重要文化財に指定されました。いまま八代平野を海から守る現役の施設で、郷土の誇りです。

http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/ar/article_view.phtml?id=14964

九重“夢”温泉郷

大分県九重町



九重町には町内随所に温泉が湧いており、それらは総称して「九重“夢”温泉郷」と呼ばれています。

古くからの湯治場でうたせ湯と郷土料理「極楽温鶏」が有名な『筋湯温泉』、ホテルの名所として知られる『宝泉寺温泉』、九重連山の登山口長者原温泉一帯に湧く『長者原温泉』、文豪川端康成氏ゆかりの湯治場『筥の口温泉』、静かな山里に多くの民宿が点在する『湯坪温泉』、川の底からお湯が湧く『川底温泉』、岩をくりぬいたような洞窟温泉露天風呂『壁湯温泉』、摂氏14度の冷泉が湧き出ている『寒の地獄温泉』、滝すべりで知られる龍門の滝近くの『龍門温泉』、飯田高原中央にある黄色い濁り湯の『馬子草温泉』、紅葉の名所九酔溪にある『九酔溪温泉』など、個性豊かな温泉が点在しています。

九重町にお越しの際はぜひ温泉に入って体の疲れを癒して下さい。<http://www.kokonoe-k.com/>

九重“夢”大吊橋

大分県九重町



九重町は大分県の南西部に位置する高原と温泉と夢の町です。四季の変化が鮮やかで春は野焼きの黒、夏は新緑の青、秋は紅葉の赤、冬は雪景色の白と折々に移ろう大自然をご堪能いただけます。

平成18年10月に完成・オープンした『九重“夢”大吊橋』は、鳴子川溪谷の標高777m地点に架かり、長さ390m、川床からの高さ173mと、人が渡る吊橋とし

ては日本一です。この吊橋の上からは「日本の滝百選」に選ばれた「雄滝（落差83m）」と「雌滝（落差93m）」からなる震動の滝や紅葉で有名な県の名勝地「九酔溪」の絶景、また天気の良い日には九重連山の壮大な景観を眺めることができます。

なお、オープン当初より多くの観光客が訪れ、入場者は平成21年6月末現在462万人となっています。

<http://www.yumeooturihashi.com/>

財光寺農業小学校

宮崎県日向市



地域づくり事業として、現在の農業、食の不安、食育についての課題を抱く有志が地区に住む小学生を対象に遊休地を利用した農業体験学校を開校しました。

県内に同様の事例がないことで不安でいっぱいだった事業スタートとなりましたが、現在では、JA職員及び地区の方々との協力、また、見学に来られた方からの励ましの言葉をいただいて、非常にやりがいを感じています。

参加している20名の小学生も月2回の登校日（作業日）に、今まで1人の欠席もなく頑張って汗を流して、作業しています。

6月には、夏野菜の収穫があり、自分で作った初めての野菜に感動していました。

<http://takarakko-agri.blogspot.com/>

**「マンゴーの里豊見城」宣言
沖縄県豊見城市**



豊見城市では、平成21年5月27日に豊見城市豊崎にある「JA食菜館菜々色畑」にて全国で初めてとなる「マンゴーの里」を宣言しました。

豊見城市では1970年代から地元のJA豊見城村（現在のJAおきなわ豊見城支店）や生産者を中心として、果樹生産部会を設立し、マンゴーの産地化を目指して県や関係機関と協力し、積極的に栽培に取り組んでまいりました。

平成12年6月には、沖縄県知事より県内初となるマンゴー拠点産地に認定され、また今年2月に行われた「おきなわ花と食のフェスティバル2009」では、これまでの活動が評価されマンゴー産地としては県内初となる沖縄県農林漁業賞を受賞しました。

今後は生産者の栽培意欲、栽培技術の更なる向上をほかり、安定した生産供給体制の確立と高品質な豊見城産マンゴーのブランド化及び普及を目指していきます。

<http://www.city.tomigusuku.okinawa.jp/>

わかまちの旨いもん

地域の特産物や名物料理（レシピ）の紹介など、「食」について紹介します。

**まちの農産物で新商品開発
北海道十勝郡浦幌町**



十勝の東部に位置する浦幌町は、十勝でも有数の豆の産地です。JAうらほろが、その豆を活かし今までにない商品の開発を目指し、地元のフリーズドライ加工会社と共同して特産品を作りました。

その名は「そのまま食べる十勝の豆」。豆を一度やわらかく煮てからフリーズドライ（凍結乾燥）することにより、そのままサクサクとおやつ感覚で食べられます。

砂糖でほんのりと甘味をつけ、保存料等は一切使用していない安心な商品です。

その他の食べ方としてお湯を沸かした鍋に直接投入すると数分でやわらかい豆に戻りますので簡単に煮豆として食べられます。また、カレーやシチューなど煮込み料理の素材として等々用途も多彩です。豆の種類は黒大豆、金時豆、白花豆の3品種です。特に黒大豆はビールのおつまみに最適です。JAうらほろでは、「今後も地元の農産物を使った商品開発に力を注いでいきたい。」と次なる特産品の開発に意欲を燃やしています。

http://www.netbeet.ne.jp/~ja_urahr

赤貝どん

宮城県名取市



漁獲量日本一を誇る、関上の赤貝。ぷりっとした身の締まり、柔らかい中にも弾力があり、しこしこした歯ごたえ、噛むほどに口の中に広がる甘さ、身が大きく上質の味わいは、地元の食卓に上るよりは東京の築地市場などに運ばれ、全国的に評価を受けているブランド食材です。日本の関上赤貝を使った「赤貝丼」は、地元のすし屋・料理屋5店で1日5食限定、幻の名物です。

価格は税込で2,100円です。ぜひご賞味ください。

**大栄愛娘(サツマイモ)、伊能歌舞伎米
(コシヒカリ)、甘芋ん(あま~いもん)
(サツマイモ) 千葉県成田市**



大栄愛娘はJAかとり「甘しょ育成研究会」のメンバー73名が土づくりや栽培方法・食味などにこだわって作ったサツマイモのブランド品です。品種は高系14号を選抜し、出荷時期は11月から翌年6月までで、出荷前に食味検査を行い優れたものを出荷しています。食味はやさしい甘さが口の中いっぱい広がるしっとりとした食感で冷めても果肉が変色せず、果肉のきめが細かいので、裏ごしがいらぬなどの良さもあり、料理好きな方にも好評です。

伊能歌舞伎米は食味を追求したコシヒカリの高級ブランド米で、伊能歌舞伎米研究会のメンバーが有機栽培や減農薬・減化学肥料で栽培していて、大粒のお米が特徴で食感・食味に優れたお米です。江戸時代より成田市大栄地区で継承されている伊能歌舞伎が名前の由来です。

甘芋ん(あま〜いもん)は成田市で栽培されている新品種のサツマイモ「クイックスイート」で作られた干しいもです。乾燥技術の研究により品種特性である柔らかさ、肉食の良さ、味の良さが好評です。

まごちゃ

千葉県勝浦市



勝浦漁港はカツオの近海竿釣舟の水揚げ数量で全国1、2位を争う拠点となっています。特に4月から6月頃、勝浦周辺の海はカツオの豊かな漁場となるため、多くのカツオが水揚げされます。

勝浦ではカツオのまちならではの様々な料理を味わうことができます。中でも、気軽に簡単に作れる「まごちゃ」を紹介いたしますので、ぜひ一度ご賞味下さい。

カツオを刺身用に切る。

カツオをご飯の上に盛り付ける。

カツオの上に浅葱、大葉、おろし生姜等を盛り付ける。

最後にだし汁またはお茶をかけ、きざみ海苔をのせて出来上がり。

料理名の由来

昔は、毎日が豊漁で、船上では食事をする間もおしく、釣った魚を刺身にしてごはんの上に乗せ、お湯をかけまごまごせずに食べたというのが始まりのようです。現在はヘルシーな健康食です。

<http://www.city.katsuura.chiba.jp/tokusan/index.html>

勝浦タンタンメン

千葉県勝浦市



そのラーメンの特徴は、スープが真っ赤で、とにかく辛い...。「勝浦タンタンメン」、「勝タン」といった愛称で親しまれている勝浦のタンタンメンは、地元で働く海士さん、漁師さんが寒い海仕事の後に、冷えた体を温めるメニューとして定着してきました。

「勝浦タンタンメン」は丼一面にラー油が入っていて見た目は辛い！最初の一口もやっぱり辛い！！でも...食べていくうちにだんだん甘くなってきます。玉ねぎやひき肉がたくさん入っているおかげです。

種類は豊富で、お店によってオーソドックスな醤油ベースのタンタンメンや味噌タンタンメン、野菜タンタンメン、つけタンタン、冷やしタンタン、タンタンヤキソバ...など特色を生かしたメニューを提供しています。

辛い覚悟で、ぜひ「勝浦タンタンメン」を味わってみてください！

<http://www.city.katsuura.chiba.jp/map/map.html>

おいでねんせの会

～勝山に来てみとっけの～福井県勝山市



平成21年2月に地産地消を促進し、新鮮で安全・安心な農林産物を提供しようと、勝山市の6つの直売所と6つの加工グループが集まり『おいでねんせの会』を結成しました。「おいでねんせ」は、「いらっしやい」を意味する地元の方言です。季節の野菜や地場農産物などを販売している直売所、鯖の熟れ鮓やお惣菜、お弁当を販売している加工グループがあり、グループ同士の横のつながりを大切に活動を行っています。

グループの商品の中には季節限定の商品もあり、鯖の熟れ鮓は年の市(平成22年1月31日)・左義長まつり(平成22年2月27・28日)でのみの販売になり、毎年即完売するほどの人気です。この他にも、勝山産の山菜、片瀬の里芋、えごま油など勝山ならではの品ばかりです。

ぜひ1度勝山に来て、特産品を味わってみよっけの～。
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/portal/news.php?ncd=20090306-100001&ocd=223>

料亭の女将さんがおススメするお店を紹介！！
岐阜県

岐阜県には、おいしいものがいっぱい！
 飛山濃水の豊かな自然あふれる岐阜県は、食材の宝庫です。そんな岐阜県の食の達人、「飛騨美濃料亭女将会」の女将さんに教えていただいた、とっておきのお店を紹介します。

地元でとれた新鮮な野菜、手作りのパン、こだわりのお肉など、紹介していただいたどのお店も、飛騨・美濃の美味しさをたくさん詰め込んだ、真心こもるメニューばかりです。おススメのお店情報は、詳しくはホームページで紹介しています。

美しい自然とおいしい食事で、心も体もホッとひと息。心地よい満足を求めて、岐阜に遊びに行ってみてはいかがでしょう。

<http://www.kankou-gifu.jp/kankou+index.id+43.htm>

これぞ食の極み！ぎふの味・伝承名人
岐阜県

「ぎふの味・伝承名人」とは、料理人としての技術の高さに加え、岐阜県産食材への深い知識を不可欠とする、限られた料理人にしか与えられない称号です。

今回、その岐阜の食を知り尽くした17名の「ぎふの味・伝承名人」を紹介します。

そこに描かれる名人の経歴、高い志、情熱、希望を知れば、自然と彼らの人柄が押し量られ、その卓越した技と心根に必ず触れてみたくになります。

ここでは、もちろん、名人の活躍するお店もご紹介しています。

食事を楽しむのはもちろん、岐阜の食を極めた達人に会いに行ってみるのもよいでしょう。

<http://www.kankou-gifu.jp/kankou+index.id+17.htm>

人間空海ゆかりのまち「健康一番名物料理・特産品」
岐阜県本巣郡北方町



美濃三弘法の一つ、北方円鏡寺を創建した弘法大師は「百薬」などの草木や鉱物による医療的な手法でも、人々の病や苦しみを救いました。

空海が北方に到来して1,200年。時空を超えた伝統を受け継ぎ、我がまち北方は百草の中から「四方草(よもぎ)」を使った「健康一番名物料理・特産品」を開発しています。

いまでは、「よもぎうどん・そば、よもぎ大福餅、よもぎ切り餅、よもぎカステラ、よもぎロール、よもぎ草餅、北方まんじゅう等たくさんのメニューがそろっています。

*商品の注文や詳しい内容につきましては、「北方町商工会」へお問い合わせください。

TEL:058-323-1101

フワフワでモチリしたドーナツ
愛知県犬山市



「フワフワ感があってモチリしている口当たりがたまらない。時間がたっても堅くならず、作りたての触感が味わえる。」と若い女性を中心にファンが増えています。ドーナツはどれも同じに見えますが、食べてみると違いがわかります。犬山の特産品じねんじょ「夢とろろ」を生地に練り込んだ、じねんじょ(自然薯)の風味が生きているドーナツです。

犬山の朝市に新登場したのが今年の5月。他のドーナツでは味わえない口当たりの良さから口コミで評判になり、名古屋などから車で30分以上もかけてわざわざ買いに来るファンもいます。

犬山の特産物となった、じねんじょ「夢とろろ」は「犬山の新しい特産物に」と、県の農業試験場の指導を受けながら開発したジネンジョの登録商標。粘りが強く、肉質は緻密で白く、ジネンジョ特有の香りが高く、食味が良いと評判です。香り・味・ねばりと三味揃った自慢のじねんじょ「夢とろろ」もぜひご賞味下さい。

<http://www.inuyama-hp.com/yume-tororo/index1.html>

地元食材をアイデアどんぶりに！ 愛知県田原市



愛知県の南、渥美半島にある田原市は全国でも有数の農業地帯。三方を海に囲まれ、海の幸の宝庫でもあります。この渥美半島の食材を生かしたオリジナルどんぶりで地域をPRしようと「渥美半島どんぶり街道」がスタートしました。渥美半島はその昔「田原街道」と「伊勢街道」を通して多くの文人が旅をしたことで知られます。

そんな街道を旅する手形をイメージしたのが「どんぶり街道手形」。手形を携えてどんぶりを食べれば、特製どんぶりがもらえるスタンプラリーに参加できます。

街道22店舗のどんぶりは、みかわポークや大アサリ、豊富にある海産物や農産物等に加え、それぞれのお店のアイデアと工夫が盛りだくさん。安くて美味しいどんぶりでお腹も心も大満足とあって、スタートからどんぶり街道は大盛況が続いています。地産地消だけでなく、観光資源としても魅力的な近年稀に見るヒット作となりました。田原市へお越しの際はぜひお立ち寄りください。
<http://www.taharakankou.gr.jp/index.html>

深蒸し煎茶を「のんでんか」 三重県松坂市

三重県松坂市にある小さな町、飯南町は温暖な気候と豊かな土質、櫛田川の朝霧に恵まれることから、深蒸し煎茶の産地となっております。

三重県を代表とする伊勢茶を、精力的に栽培・製造・販売すると共に、茶を通じ、地域や人との触れ合いを大切にしたい思いから、深蒸し煎茶は地元の方言を使用、【和の心】も一緒に「のんでんか」。

他に、高尚な深蒸し煎茶「おおきんな」、飲みやすい深蒸し煎茶「ええやんか」、普段の飲み茶にぴったりな「だんねえよ」があります。

<http://www.saraimatsusaka.com/>

下田なす

滋賀県湖南市



下田なすは、湖南市の伝統野菜で形は小振りで10cm程度の卵形をしています。手に持つと柔らかくしっとりとした吸い付くような独特の感触があります。皮はうすく実がとても柔らかく、たくさんの水分を含んでいます。あくも少なく、ほんのり甘みさえ感じられます。

地元では、下田なすときゅうりを合わせて一夜漬けを作ります。材料は、下田なす、きゅうり、みょうがそしてこの地域にしかない「やへいとうがらし」を辛みとして入れ、浅漬を作ります。下田なすの漬物は、包丁を入れるとおいしさが半減するため、丸のまま食べたり、手で裂いたりして食べます。下田なすの一夜漬けをたべるのを楽しみにふるさとに帰ってくる人も多いです。

秦荘のやまいも

滋賀県愛荘町



300年ほどの栽培の歴史を持つ、秦荘のやまいも。ルーツは伊勢いもといわれ、長年この風土に合うよう改良を重ねられ、現在のテコ状の形のやまいもが生まれました。

きめが細かく、すりおろしてもつきたてのお餅のようにもちもち感があり少し甘みもあります。

町内でも、特定の地域で取れたものが秦荘のやまいもといわれ、出荷の最盛期を迎える11月上旬には、すでに予約でいっぱいの人気商品です。

<http://www.east.jas.or.jp/agriculture/products/07.html>

地場産酒米のどぶろく「原いっぱい」 大阪府高槻市



高槻市原地区のどぶろく造りは、平成19年3月に国の構造改革特区制度の「どぶろく特区」の認定を受けて始まりました。取り組んでいるのは畑中農園の畑中喜代司さん。どぶろくの酒米は、地域活性化を目指して地域の農業者や都市住民の方々とともに田植えや稲刈り体験も併せて実施しています。酒米づくり体験のほかにも、黒大豆の枝豆づくり体験等の交流活動にも取り組んでおり、都市農村交流活動による地域農業活性化に向け、年々、地域内外からの注目と期待が高まっています。

地域の農業者のみならず都市住民も参加して完成した「どぶろく原いっぱい」は、毎年、地域の人々をはじめ、酒米づくり体験に参加した都市住民の方々にも大好評です。<http://tokainakahara.osakazine.net/>

あすかの麦茶

奈良県明日香村



遊休農地の解消と地域の活性化を目標に地場産大麦だけを使った「あすかの麦茶」が販売されています。

明日香村真弓集落営農組合が、大麦「ファイバースノウ」を減農薬で約30a栽培し、2,000袋製造した麦茶は完売。

今年は栽培2年目を迎え、去年のアンケート調査を参考に、更に美味しくなって登場。購入された方からは「香ばしい香りと甘みのある麦茶で美味しい」「茶色ではなく金色で薄いように見えるが、しっかりと麦の味がする」と好評です。

今年はより多くの方に飲んでもらえるよう、インターネットでの販売を検討しています。

どぶろく工房ちょびっと

愛媛県内子町



町内の農家民宿経営者や農業を中心とする体験施設経営者ら18会員で組織する「うちこグリーンツーリズム協会」では、安心・安全のおもてなしをモットーにグリーンツーリズムの宿を運営しており、新たなおもてなしとして自らが生産した米「ひのひかり」を原料とした3種類の「どぶろく」を製造販売しています。

「いっぱい」は、内子の方言で、「筋が通った、芯の強い、がんこな」という意味です。そういった筋の通った、頑固な味わいを楽しんでいただきたいという意味を込めた辛口のどぶろくです。また「とんと」は、お酒そのものを表す言葉で、誰からも認められ愛されるどぶろくになることを願って名付けたすっきりした味わいのどぶろくです。「Dobu6」は、男の飲物というどぶろくのイメージから脱皮し、女性向けに仕上げた少し甘口のどぶろくです。ぜひご賞味下さい。

<http://www14.ocn.ne.jp/%7Eu.k.dobu/>

もう食うシカない

高知県香美市



もみじバーガーくう鹿ないセット 530円
(べふ峡温泉) シカ肉バーガー2個・フライドポテト・ゆずドリンク付き)日曜・祝日のみの1日50セット販売。

中山間で被害の深刻化しているシカの食害の対策として、年に1,563頭のシカを捕獲(平成20年度)します。

害獣として見られてきたシカを特産品とすべく、捕獲されたシカの肉を利用した料理が作られています。シカ肉は、牛肉や豚肉に比べて脂質が少なく、高タンパクで鉄分が多く含まれています。

シカ肉料理が堪能できます。

べふ峡温泉 <http://www.kochinet.ed.jp/odochi-h>

日本一のユズのまち

高知県香美市



日本一の玉出し出荷量を誇る香美市物部町のユズは、皮が厚く香りに優れた人気ブランドです。果汁はユズ酢や清涼飲料として使用されたり、青玉はおろして素麺やトコロテンの薬味に使用されたり、また、皮は、味噌汁、漬物、ジャムなど、幅広く使用されています。クエン酸・酒石酸・リンゴ酸等が多く含まれており、疲労回復や胸やけを解消する働きがあります。

ユズのシャーベット（材料 6人分）

グラニュー糖..... 100g、 はちみつ..... 60ml
水..... 220ml、 ゆずのしぼり汁..... 80ml

（作り方）

ボウルにすべての材料を入れて、混ぜ合わせる。

金属容器に入れ、冷凍する。1時間ごとにかき混ぜて滑らかに冷やし固める。

ユズのレシピが盛りだくさんです。大橋高校HP

<http://www.kochinet.ed.jp/odochi-h>

佐賀のうまい米ナンバーワン
「天川コシヒカリ」

佐賀県唐津市



佐賀県唐津市厳木町の天川地区は、標高約600mに位置する高冷地で、昼夜の気温差が大きく、さらに軟水系の清涼な伏流水と砂質土の土壌といった恵まれた環境により、良質米を栽培するのに適した地域です。

この地域で栽培している天川コシヒカリは、減農薬・減化学肥料に取り組む農家が丹精込めて栽培し佐賀県特別栽培農産物の認証取得はもちろんのこと、地域独自の基準による厳しい審査で「天川コシヒカリ」のブランドに適合する圃場を選別。さらに、同じ圃場内であっても

生育状況の良いものだけを刈り取る「別刈り」を行うなど、手間を惜しまず良食味にこだわった取り組みを行っています。

その甲斐あって、平成20年産は台風に遭うこともなく、全般的に天候にも恵まれ、生育も良好で、佐賀県米品質向上コンテストでは優勝の栄冠も手にすることができました。また、同じ20年産において、新嘗祭への献上米にも取り組んだことで、生産者も「天川コシヒカリ」の品質に自信をにじませており、今後のさらなる品質向上とブランド力向上に意欲を見せています。

「おにぎり」ならぬ「おぎ(小城)にり」！？
～小城流スローライフ～ 佐賀県小城市

スピードや効率性も大切であると認めながら、「ゆっくり、ゆったり、心ゆたかに」をテーマに地域の自然・歴史・伝統・文化・食を大切に暮らすことや、これまで見過ごしていたことの中にあるよさに気づくスローライフ。

そのような考えから、改めて地域を見渡してみるとあるある地域の資源。甘露水という「おいしい水」、市内のおいしい「お米」、牛尾の「梅」、芦刈の「海苔」がありました。

そんな豊富にある素材の組み合わせで、おにぎりを作りました。その名前は、小城をもじって「おぎにり」。

「おぎにり」の定義（1）も考え、それにより現在は、3種類（2）をデビューさせ販売を開始しています。「おぎにり」作りのために結成されたその名も「おぎにり隊」。今後もパッケージや具材等検討を重ね地域の直売所・農漁業関係者、事業者等のWomenパワーで消費拡大と情報発信に繋げていきます。

- 1 小城の食の豊かさを感じるもの
小城市内の食材でつくる
心をこめて手で握る
- 2 「正統派おぎにり」
様々な具材を入れた「山から海へおぎにり」
小城羊羹を包んだ「スイーツおぎにり」

<http://www.city.ogi.lg.jp/>

食べてびっくり「青いのに甘い」みかん
熊本県津奈木町



一見すると橙のようにも柚子のようにも見えますが、「青くて甘い、珍しいミカン」ということでじわじわと人気広がっているのがスイートスプリングです。

温州みかんと八朔をかけあわせた品種で、12月から1月いっぱいまで出荷されます。熊本県産の柑橘類といえばデコポンや甘夏の人気が高いですが、このスイートスプリングの産地化にも熱心に取り組んでいるのが津奈木町の生産者グループです。年間収穫量が約20トンと少なく、一般の市場で見かけることはまずありません。

そのため、希少価値も他のミカンとは比べ物にならないくらい高くなっています。津奈木町自体が販売を取り仕切っているため、生産者から直接全国のお客様に届けられます。そのため、お客様の生の声が生産者まで届き、品質改良に一役かっています。現在では、特別栽培農産物としてエコファーマーにも取り組み、「安全で安心」な柑橘栽培をグループ全員で手がけ、「津奈木ブランド」の確立に向けて奮闘中です。

<http://www16.ocn.ne.jp/~green-g/>

九重“夢”バーガー

大分県九重町



九重町の新名物として誕生した九重“夢”バーガー。バーガー認定委員会による厳しい認定基準を満たした町内6店舗の認定店で展開しています。

大分の方言で『大きい』を表す「うーバーガー」、『The・おおいた豊後牛』の肩ロースを使った「ステーキバーガー」、ご飯感覚で味わえる「ライスバーガー」、猪肉をミックスしたボリュームのある「シシガー」、焼そばを挟み込んだ「焼そばバーガー」、丹誠込めて作っ

た「チキン南蛮バーガー」など、どの商品も地元九重産の材料を使っておりバリエーションに富んでいます。

<http://kokonoe.oita-shokokai.or.jp/main.html>

私達、輝いています

地域で活躍している女性（グループ）の取組を紹介します。

イベントでの直売初体験！昴～うづら～
北海道深川市、妹背牛町、幌加内町



若手女性農業者グループ昴（うづら）は、普及センターの研修講座を卒業した11名で、平成19年に彗星のごとく誕生しました。経営や技術に関するプロジェクト活動と、土作りや事例調査研修などを実施しています。

活動のもう1本の柱は、消費者との交流です。北海道主催の生産者がつくる愛食料理コンテストでは、「昴特製パエリア風」が20年度の最優秀賞に輝き、サークルK・サンクスから期間限定で販売されました。次の挑戦は、「ふかがわ元気会議」が主催する市内空き店舗フェスタでの農産物直売です。グループ員が持ち寄った豊富な品数揃えと、生産から食べ方までを直接伝えたこの企画は、お客様にも大好評でした。地場の農産物のコラボレーションによって、新たな商品開発や活用方法の提案をしていこうという想いが、会員手製の「昴屋（うづらや）」のれんにも込められています。

明るい声の響くパイプハウスの直売所
（まめの会） 埼玉県蓮田市



「安全でおいしい農産物を届けたい」まめの会のメンバー6名が、蓮田市役所前で、週3回の直売を始めて12年目になります。農林振興センターの指導を受けながら勉強会を重ね、特別栽培米への取組みやエコファーマーの認定など、安全安心にこだわった、農産物生産に取り組んできました。

直売所はメンバーが手作りした、パイプハウスに机を置いただけの簡易なものです。しかし、小さいながらも新鮮な野菜が並ぶこの直売所は、地域住民からの支持も厚く、いつもお客さんとメンバーの明るい声が響いています。

また、まめの会では、地域の学校やPTAと連携し、学校給食に年間を通じて野菜や米を提供しています。今後も新鮮で安全安心な農産物を、地域に提供したいと張り切っています。

女性農業者グループ「みちくさ会」が 直売所で夏野菜料理の試食イベント 東京都日野市



日野市女性農業者の会「みちくさ会」は現在25名の会員で、産業まつりへの出店（おやき販売）、各種イベントでの「農の生け花」の展示、消費者交流会など、様々な活動をしています。平成21年7月6日、日野農産物直売所で「旬野菜を美味しく食べよう！」をテーマに、地元産の夏野菜を使った料理の試食会を催しました。

メニューは会員がアイデアを出し合った「土方歳三うどんの夏野菜と焼肉のたれの和え麺」「じゃがいものごま甘辛煮」「茹で茄子のラー油がけ」の3種。土方歳三ゆかりの地である日野市商工会が開発した、土方歳三うどんを使った料理の登場で、直売所を訪れた客も「さっそく作ってみたい」とレシピを持ち帰る姿も。

ほぼ月1回の活動で、会員同士生き生きと地域の農業の活性化に向け活躍中です。

sangyo_nousan@city.hino.lg.jp

大地からの贈り物レインボーグループ 滋賀県安土町



私たちは滋賀県の東部、安土町大中のレインボーグループといって、地元産野菜の加工販売をしている専業農家の女性グループです。

大中は野菜栽培が盛んな地域です。しかし商品として流通しない規格外の人参やトマトが大量に廃棄されるのを目の当たりにし、私たちは残念な気持ちでいっぱい…。有効利用できないものかとジャムやケチャップへの加工を考えつきました。

「にんじん畑」は人参のジャムです。素材の持つ味を生かし、天然のペクチンにはりんご、酸味にはレモンを使用し丹念に煮詰めて仕上げたおかげで、子供からお年寄りまで幅広い人気を呼んでいます。「熟れっこさん」は完熟したハウストマトを使用、スパイシーで深い味わいのあるケチャップと評判です。特に若者には人気があり、卵料理はもちろん揚げ物のソースとしてもGOODです！

私たちは喜んでくださる顔を励みに、地元の野菜を無駄にしないためにも、加工品の開発と生産に今日も力を注いでいます。

愛荘町生活研究グループ 滋賀県愛荘町

地元の四季折々の食材を生かして、エコな調理を実践し、地域の農村女性の担い手としてがんばる女性9人のグループ。

地域のイベントやクッキング情報を広報誌に掲載するなど、地道な活動が主ではありますが、食育等様々な分野との連携を図り日夜頑張っておられます。

京都府生活研究グループ連絡協議会が 「京ごちそうさま お母さんの味」 を自費出版 京都府



京都府生活研究グループ連絡協議会では、先人から受け継がれてきた地域の食文化を伝えようと、食の技と知恵を取りまとめたレシピ集を編集・発行しました。この冊子で紹介しているお料理は農家のお母さんたちが、農山漁村で採れる旬の食材を工夫して作ってきた、飽きのこない素朴なレシピばかりです。レシピの作成にあたっては、会員が何回も料理を作って作り方や分量を確認し、写真も鮮明になるように撮り直しました。表紙の絵や題字も会員の作品です。また、料理にまつわる話では、手づくりの食事が普通であった頃の暖かい愛情のこもった風景も書き留めています。

出版費用については、厳しい時勢にもかかわらず、趣旨に賛同いただいた多くの皆さんが、広告料や協賛金を寄せてくださいました。皆さんの支援に感謝しつつ、この冊子で食育や地産地消を進めようとみんなで頑張っています。

**「印南野そば倶楽部」3人娘！？
兵庫県加古郡稲美町**



平成16年4月から、そばに係る加工品作りを始めました。印南野そば倶楽部は30人のメンバーで、それぞれが持つ得意分野を活かし活動を行っています。

今回は、倶楽部の中でそばを使ったお菓子作りをしている、3人娘？を紹介させていただきます。

子育てもひと段落し、近所のメンバーで構成した「印南野そば倶楽部」で、そばのみを地域の人に提供するのではなく、女性の感性を活かした商品づくり、すなわち「素朴」「なつかしい」に「あたらしい」加えた商品をつくり、地域の人々とのふれあいや出会いを大切に活動を展開しています。

作ったお菓子は毎日、稲美町内にある直売所「ふぁ～みんSHOPいなみ」に出荷しています。また、地域のイベントにも参加して、印南野そば倶楽部の商品売上げ拡大につながるPRもこのメンバーでしています。

**『山の神、川の神の棲む、
ふるさと斉木を賑やかに！晴れやかに！』
兵庫県宍粟市**



中国縦貫道山崎ICを降り、姫路・鳥取間を結ぶ国道29号を揖保川沿いに30分北に向かうと、福知山・津山間を結ぶ国道429号に交差します。その斉木口の信号を左に曲がり千種方面に向かうと、正面に空に向かって峻と聳えるデッカイ山がある。それが我がふるさと斉木のシンボル「大甲山（おおこうざん）」です。その東西に延びる裾野に人口約700人、世帯数220戸の斉木自治会があります。

平成20年度に国の「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」の採択を受け24年度までの5年間、伝統の「チャンチャコ踊り」、西から東に流れる川で行われる「川褌まつり」、宍粟50名山の大甲山・行者山の登山道整備、また、地域特産の「葉ワサビ」を使った「ワサビ漬け」、名水づくりや米づくりなどに取り組んでいます。

『山の神、川の神の棲む、ふるさとを賑やかに！晴れやかに！』をテーマに「斉木ええむらつくろ～協議会」は頑張っていますので、ぜひ、いっぺん遊びに来てな～！！。

**農村加工所「まんま実～や」
～未来に伝えたいふるさとの味、
子どもに伝える母の味～ 福岡県古賀市**



農村加工所「まんま実～や」は、福岡県古賀市の農業女性12人が、郷土料理や地元の農産物で作られた加工品を「多くの人に伝えたい！味わってほしい！」という思いから平成21年4月に発足しました。

「マンマミーヤ」はイタリア語で「わたしのお母さん」という意味ですが、「まんま」は日本語で「そのまんま」や「ごはん」という意味もあります。「実」は古賀市特産のみかんの意味を持たせました。

根菜たっぷりの具汁で出来た郷土料理「らぶ」や、「にわとりご飯の具」をレトルトにしており、保存性と持ち運びが出来る利便性を特徴としています。その他にも焼肉のたれ、ねーぶるたまねぎドレッシング、練りみそ、いちごジャム等を作っていますが、全て安心安全な食を目指して作った地元農産物が主原材料です。商品は農産物直売所で販売しているほか、直接注文にも応じています。

「未来に伝えたいふるさとの味、子どもに伝える母の味」をモットーとし、手作りにこだわり商品を販売しています。私たちの思いが商品と共に多くの人達に届くことを願っています。

元気いっぱいのおばあちゃん7人ユニット 、『GABBA』(ガバ)

佐賀県武雄市



ドラマ『佐賀のがばいばあちゃん』の撮影をきっかけに、樋渡啓祐武雄市長がプロデュースしたのが、市内在住の63歳から92歳までの元気いっぱいのおばあちゃん7人ユニット、その名も『GABBA』(ガバ)。

結成後は「もんぺ姿」で観光ポスターに登場し、武雄市観光宣伝隊として活動をスタートしました。19年7月には、1,700人を集めたライブコンサートで歌手デビューし、念願のデビュー曲『うれしか 楽しか ちゃーがつか』のCD化も達成。さらに、20年7月にはセカンド曲となる『大好きがばい武雄のばあちゃん』をリリース！七人のメンバーは口をそろえて『ふるさと武雄の役に立ててうれしかばい。七人力を合わせて武雄のためにがんばーばい！！次の目標は紅白歌合戦出場！』とやる気満々です。

<http://www.city.takeo.lg.jp/gabba/index.html>

下村婦人会の「市房漬」本場の本物に 熊本県湯前町



湯前町名物の野菜の味噌漬け『市房漬』が、今年2月に地域食品ブランド「本場の本物」に認定されました。

これは、伝統的に培われた「本場」の製法により、地域特有の厳選原料を用いて「本物」の味をつくり続けている加工品に与えられるもので、県内での認定は初めて。

女性13名による下村婦人会市房漬加工組合は、1950年に前代表の山北さんらが「女性も現金収入を得よう」と、余った農産物を加工したのが始まり。1964年に、各家庭で作っていた野菜の味噌付けを商品化し、地域のシンボルである市房山にちなんで「市房漬」と名付けました。

防腐剤や着色料を一切使わず、球磨焼酎を仕上げの風味付けと保存料に生かし、風味豊かな味が受けロングセラー商品となっています。他にも、からし漬けやしぼづけなど20種類以上を商品化し、農林水産大臣賞受賞の賞品も多く、どれも人気のあるものばかりです。60年ほど前から農商工連携に取り組み、本当にこだわった活動をされています。

交流・連携通信

都市農村交流や交流相手の募集など地域間交流活動を紹介します。

みかん狩りで都市農村交流 ～ライス・ハウス・かわなべ～

埼玉県春日部市



ライス・ハウス・かわなべは、埼玉県東部の春日部市(旧庄和町)で古くから米づくりを行ってきました。

10年ほど前から、米ぬかと堆肥を使った温州みかんの栽培を始め、地域住民の方々にみかん狩りを楽しんでもらっています。この地域ではみかん園は珍しく、また果実の甘みも年々増してきており、来園者にとっても喜ばれています。今年も、10月下旬から12月頃までみかん狩りが楽しめます。

その他、この時期には柿狩りも楽しめるほか、滋養豊富でおいしいホンモロコの販売もあります。また、年間を通じてコシヒカリ特別栽培米や、自家生産もち米100%使用のあられも販売しています。

都会の喧騒を離れ、広々とした田園風景が広がる中、家族や友達同士でゆったりと楽しんでみませんか。

所在地：埼玉県春日部市水角479

TEL：048-746-3960

http://www.geocities.jp/rh_kawanabe/index.htm

**ながおか援農システム「大地まるごと学」
新潟県長岡市**



農山漁村の人たちと触れ合いながら、農作業体験をしてみませんか。

ながおか援農システム「大地まるごと学」は、「農作業を体験してみたい!」という方と、「農作業を手伝ってほしい」という農家の方をつなげる仕組みとして、20年度にスタートしました。

参加していただく方を「大地の仕事人」と呼び、田んぼの草刈、野菜や花きの収穫・調整、家畜の世話などを、受入農家のやさしい指導のもとで体験していただきます。

日常から少し離れ、真っ青な大空の下、陽光にきらめく緑に抱かれながら、農家の方と一緒にいい汗を流しましょう。畑や田んぼがあなたを待っています!

<http://www.nagaoka-volaba.jp/>

**「原産日野の日野菜を食べる会」
& 「記者会見」を開催 滋賀県日野町**



去る6月2日、大津プリンスホテル37F「レストラン・ニューヨーク」を貸切って「原産日野の日野菜を食べる会(主催:日野町)」を開催しました。参加者は、日野菜関係者38名(栽培農家16名・役場10名・JA6名・商工会3名・県庁農産ブランド推進室2名)。

目的は、日野菜農家やその関係者が同ホテルでの日野菜料理を実際に味わうことでホテル向けの栽培・出荷法に誘導するとともに、日野菜の「晴れ姿」を目にすることでその生産意欲の向上を図ることです。同時に「記者会見」も開催。藤澤町長自らが「日野菜への思い」を熱く語ったことや、取材用「日野菜料理」の試食や生の日野菜を準備したこと等、マスコミを意識した企画であったことから多くの取材(15社)がありマスコミ報道によるPR効果を期待されます。

なお、この秋にはザ・リッツ・カールトン大阪で「日野菜」をテーマとしたヘルシー&ビューティランチの開催も予定しています。

<http://www.princehotels.co.jp/otsu/restaurant/info/hinona/>

**田舎暮らしワーキングホリデー開催中!
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町**



那智勝浦町色川地域は、「那智の滝」の西方に位置する、棚田が美しい静かな山村地域です。移住者受け入れ30年の歴史があり、イターン者が地域人口の3分の1以上とたいへん多く、地域と協同した活動が多く生まれてきています。

地域の活性化を推進する色川地域振興推進委員会では、今年度里山保全、茶畑管理、稲刈り、遊休農地復元、森林活用、果樹管理の作業等農作業やささまざまな地域活動を体験する「田舎暮らしワーキングホリデー」を山村での仕事や活動をしっかり体験し、学び取ろうとする若者を対象に、8月~11月まで毎月1回、3泊4日で開催します。

また、「百姓養成塾」では、積極的に都市から学生を募り、過疎地域と都市部の若者を繋ぐ拠点作りを目指した「わがらで地域づくり」プログラムの活動を行っています。

問合せ: 那智勝浦町役場 色川出張所

TEL: 0735-56-0101

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022200/inakagurashi/update/nati.pdf>

<http://www.furusato-irokawa.com/>

Let's 農業

地域で新たに就農された方の体験談や、農作業体験などの活動内容・参加者募集を紹介します。

**十和田農業体験連絡協議会
「十和田で農家体験」青森県十和田市**



十和田市は、青森県の南東部中央に位置し、八甲田連峰や十和田湖、奥入瀬渓流など全国に誇る景勝地を数多く抱える十和田八幡平国立公園の玄関口にあたる、自然豊かな街です。また、当地では水稻やにんにく、長ネギ、ナガイモ、ゴボウなどの生産が盛んとなっています。

十和田農業体験連絡協議会は、グリーン・ツーリズム実践者による修学旅行生等の農業体験を受入れる組織として平成15年度に発足しました。平成19・20年度は、十和田市の国際交流活動の一環として台湾からの修学旅行生を農家民宿で受け入れました。

協議会では、子供たちが、十和田の自然や文化とのふれあいや受入農家との交流により、日常生活で失われがちな「ゆとり」や「やすらぎ」を感じられるような農業体験メニューを提供しています。また、子どもたちとの交流は受入農家にとっても刺激となり、地域活力の向上につながっています。

十和田の自然、農業をぜひ体験してみませんか。



都会の喧騒を離れ、海、山、畑・・・自然豊かな新潟市・越前浜地区で、「田舎暮らし」、「農のある暮らし」を体験してみませんか。農を感じ、食を味わい、地域を知り、そして何より人のあたたかさに触れる。それが、「食と農の学校 越前浜教室」です。

3泊4日の農業・農村体験、地元の方との交流などを通して、その作業や生活を満喫してもらい、近い将来の定住・交流人口の拡大につなげることを目的としています。だいこんやごぼう、ぶどうの収穫、地引網、郷土料理の実習のほか、古民家見学、食と農に関するパネルディスカッションなども予定しています。

http://www.city.niigata.jp/info/shoku_hana/dartya/H21bosyu.html

定年帰農者による 「あやめ雪」栽培 茨城県笠間市



昨年9月から小原地区にある畑総地帯で、土地の有効利用と新たな野菜振興を目的として、定年後に農業を始めた人たちが集まり、カブの品種「あやめ雪」の栽培を行いました。

それまでに関係機関、JAを交え栽培する作物を検討し、育てるのに労力がかからず出荷も簡単にできる「あやめ雪」を選びました。

実演会では本格的な野菜の栽培が初めてのため、専業農家の支援を受けながら全員で播種を行い作業の手順や方法を学び、11月には市場へ出荷するまでになりました。

今年の2月には「小原地区あやめ雪研究会」を立ち上げ、7名から10名にメンバーも増え、栽培面積も倍の面積になりました。

これから、ますます品質の向上や規格の統一に精力的に取り組み、地域の活性化につなげていきたいです。

食と農の学校 越前浜教室 新潟県新潟市

アンテナショップ

地域の農産物が身近に購入できるアンテナショップやテナントを紹介します。

八街市推奨の店「ぼっち」オープン！ 千葉県八街市



市の中心市街地の活性化と雇用の促進を図ることを目的に、JR総武本線八街駅近くにある空き店舗を活用したアンテナショップが平成21年7月17日にオープンしました。

このショップの名前は、八街市の特産品「落花生」の収穫時期に多くの畑で見かける落花生の野積み（これを地元では「ぼっち」といいます。）に由来します。

「ぼっち」では市の特産品である落花生（地域団体商標登録制度に認定されました。）をはじめ、市内で生産されているお菓子類から新鮮な野菜まで販売しております。今はまだ店頭での販売だけですが、今後インターネットを活用し全国に八街市の特産品をお届けしたいと考えています。

営業時間 9:30～19:00 定休日 月曜日

産地直送『新鮮・いすみの朝市』 千葉県いすみ市



いすみ市特産物販売促進協議会では、東京都墨田区東向島の「いろは通り商店街」の空き店舗を利用して、毎週土曜日に直売所、産地直送『新鮮・いすみの朝市』を開設し、いすみ市の新鮮な野菜や旬の果物・生花・干物・加工品、特産物である「いすみ米」・「岬なし」等を販売しております。

この産地直送の直売所は2年ほど前から行っており、現在では開店前にもかかわらず行列が出来るほど好評で、またリピーターの方も多く、毎週土曜日の開店を楽しみにしているようです。

また、いすみ市を多くの方々を知っていただくために各種イベント等のパンフレットを配布し、PR活動も行っております。ぜひ、より多くの方々へ新鮮な「海の幸」・「山の幸」いっぱいはいすみ市の直売所『新鮮・いすみの朝市』を訪れていただきたいと思います。

場所：東京都墨田区東向島いろは通り商店街

問合せ：いすみ市役所農林水産課

TEL 0470-62-1280

愛荘町の鉄道の玄関先 愛知川駅コミュニティハウス一ぶる愛知川 滋賀県愛荘町



“駅”と言う特別な空間に、観光案内所と物産販売そして、駅での美術展（駅ギャラリー）を開催。愛知川駅コミュニティハウス「一ぶる愛知川」は、年末年始を除いて年中無休で、朝8時から夕方5時まで営業しています。駅ギャラリーの開館時間も同じ。駅ギャラリーでは、展示替えによる閉館日を設けないというユニークな運営で注目を浴びています。展示の最終日だけ午前みの開館として、午後のうちに展示替えをして、翌日には次の展示を始めるというシステムです。運営委員会の招待基準に則ったレベルの高い芸術作品の展示を中心に、ときおり観光協会による歴史や街道、鉄道などをとりあげた展示を開催し、駅を歩きかう様々な方との新たな出会いと交流を深め、地域の発展をめざす施設として観光協会が指定管理者として運営しています。

<http://www.biwa.ne.jp/~e-machi/>

道の駅オープン

福岡県香春町

平成21年秋に道の駅がオープン。施設内には、旬の野菜や商工品を販売する物産直売所『わぎえの里』、ドライバーの休憩機能や情報交流機能を備えたトイレ・情報提供施設、各種テナントを設置します。

わがまちのユニーク施策

市町村において独自に取り組んでいる施策を紹介します（地域おこしなどジャンルは問いません）。

宿場町の風情を！「御嵩駅舎」をみんな でなそう！ 岐阜県御嵩町



修景前

修景後

江戸時代、御嵩町には江戸と京都を結ぶ主要街道「中山道」が通り、「御嶽宿」「伏見宿」という2つの宿場が設けられ、人や物、情報や文化が往来する場所として賑わいをみせていました。しかし近年では往時の活気も薄れ、宿場町の風情は次々と失われています。

町では、こうした資源を地域固有の「宝もの」としてみつめなおして活用をはかろうと、地域住民や高校生、大学生、各種団体のみなさんとともに「御嶽宿」地域を中心とするまちづくりについて話し合いを重ね、昨年「御嶽宿地域景観等整備指針」を策定し、景観保全と地域の活性化に取りかかりました。

農遊フェスタ

滋賀県愛荘町



恵まれた愛荘町の自然環境の中で、収穫した農産物の試食や野菜の収穫体験などを通じて農業者と消費者との交流を深め、来場者に農業への関心を高めていただくことを目的として開催しています。当日は、農業体験ができるスタンプラリーやグラウンドゴルフ、ふれあいイベント、農産物直売、餅つき大会、バザーコーナー（無料）、そば打ち体験、大型機械展示試乗体験などが開催されます。<http://www.ex.biwa.ne.jp/~aishonouyu/>

こうしたなか、社会実験としてゴミ集積箱の修景などをおこない、自分たちで景観づくりをおこなっていく意識を確認し、さらに取り組みの範囲や規模を広げて修景事業に取り組んでいこうと、今回「御嶽宿」の入口にあたる名鉄「御嵩駅」を修景しました。

のべ2日間にわたり、御嵩町産直組合と可茂塗装工業会のみなさんに指導を受けながら、駅舎の傷んだ部分を杉板に貼り替えたり、宿場の雰囲気を出す格子を製作・取り付けたりと、30度を超える暑さのなか約20人の参加者みんなが汗を流し、御嵩駅舎は見違えるような姿に生まれかわりました。

この御嵩駅が「御嶽宿」の玄関口として、通勤通学はもとより観光で訪れる皆さんにも愛される場所になってくれればと思います。

<http://www.town.mitake.gifu.jp/>

長久手町田園バレー交流施設 「あぐりん村」 愛知県長久手町



「農のある暮らし、農のあるまち」をテーマに都市と農村の共生を図ろうと進められている長久手町田園バレー事業では、都市と農村を結び長久手町田園バレー交流施設「あぐりん村」を平成19年4月にオープンし、現在多くの来場者で賑わっています。

あぐりん村内の農産物直売所「市・ござらっせ」では、長久手町内や近隣の農家らから毎朝新鮮な農産物が出荷され、生産者の顔が見える商品として、安心安全な食を求める消費者等から関心を集めています。

また、同施設内のパン工房では主に町内産の米を使用した米粉パンを提供している他、地元の女性グループが出資した企業組合で運営されるふるさと薬膳レストランでは、地元野菜を中心に健康に配慮した料理を提供しています。

あぐりん村では、生産者が消費者のニーズに幅広くこたえるよう出荷作物を増やしたり商品PRを工夫するなどの努力を行うことにより、産直所が活気づき、来場者数、出荷農家数とも年々増加しているところです。

<http://www.nagakuteonsen.jp/agrin/index.html>

豊かな自然がいっぱい!! 宅地分譲「グリーンビレッジ平野」 熊本県和水町



和水町では、今年8月より地域の活性化と若者の定住促進の一環として定住促進住宅用地「グリーンビレッジ平野」の分譲販売を開始しました。区画数は11区画と少ないのですが、区画面積は平均約100坪あり家庭菜園のできるゆとりの広さがこのグリーンビレッジ平野の特徴です!!また、分譲価格も坪単価25,239円からとお求め安い価格となっています。

販売方法は、一括支払による譲渡制度と、毎月貸付料を支払う15年間の土地貸付制度（年齢制限あり）を用意!!

また、入居時において中学生以下の同居親族がいる世帯に対して、子ども1人当たり20万円の子育て定住補助金を受けることができます。

和水町では、現在「おいでよ!和水に住まいづくり応援プラン」として3年間の新築住宅の固定資産税の減免事業を展開しています。

ゆとりの住環境を手に入れるこのチャンスをぜひご利用ください。

<http://www.town.nagomi.lg.jp>

イベント情報

平成21年10～12月に全国各地で開催が予定されているさまざまなイベントを紹介します。記事を読んで興味を持たれた方は、ぜひ一度現地を訪れてみませんか。

水車まつり

岩手県久慈市



昔懐かしい雰囲気の中、地元でとれた野菜や郷土料理の販売、水車の加工実演、さらには郷土芸能の披露などが行われます。なかでも山根名物の豆腐田楽は大人気。美しい自然と人々の心づかいが感じられる心温まるまつりです。

<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

開催日時：平成21年11月1日（日）

開催場所：桂の水車広場

問合せ先：山根六郷研究会事務局

（久慈ステーションホテル内）

八幡平山賊まつり

岩手県八幡平市



八幡平山賊まつりは、国立公園に指定されている八幡平の紅葉の時期に合わせて開催される産業まつりです。

毎年この時期に行われ、今回で21回目を迎えます。

会場では、八幡平の清流と自然豊かな大地がはぐくんだ新鮮な秋の味覚や特産品が、ところ狭しと並べられるほか、友好都市・沖縄県名護市と姉妹都市・岩手県宮古市からも駆けつけ、各地の名産品を販売します。

ステージでは多彩にイベントが行われ、南部馬方節全国大会をはじめ、地元の子もたちがかわいらしい踊りを披露するなど、会場を盛り上げます。また、八幡平の紅葉を眺めながら空中を散歩感覚で楽しむ遊覧ヘリコプターも飛行しますので、ぜひこの機会に八幡平へお越しください。

<http://www.city.hachimantai.lg.jp/>

開催日時：平成21年10月10日（土）～12日（月）

開催場所：八幡平市さくら公園イベント広場

問合せ先：八幡平市産業部商工観光課

TEL:0195-76-2111（内線1265）

第28回女川町水産まつり

宮城県女川町



女川港で水揚げされた鮮魚や、町内で生産されている水産食料品を一堂に集め、年末特別奉仕価格で販売します。

三陸女川ならではの水産品を多数用意しております。

また、鯨肉の限定販売やマグロの解体実演即売、特別企画として空クジなしの大抽選会や特設ステージでの模擬セリ、アトラクションのほか無料試食コーナーも用意しております。

開催日時：平成21年12月27日（日）

開会式8：30展示販売9：00～13：00

開催場所：女川魚市場特設会場

問合せ先：女川町水産まつり実行委員会事務局

（女川町役場水産農林課内 TEL：54-3131）

第26回気仙沼・本吉地方産業まつり

宮城県気仙沼市



気仙沼・本吉地方産業まつりは、今年で26回目を迎えます。東北一の水揚げを誇る気仙沼市魚市場を会場に気仙沼港に水揚げされた新鮮な海産物をはじめ、水産加工品、農産品などの地場産品を市価の1～2割引で販売します。また、「日本一のジャンボのり鉄火巻き大会」（参加無料）や、40kg相当のまぐろや地場産品が当たる大抽選会、「緑の真珠」と詠われる大島を巡る「大島外洋クルーズ」（大人500円、小学生以下は無料）、今話題の気仙沼ホルモンが炭火で味わえる七輪広場など、すがすがしい秋空の下気仙沼の海の幸山の幸をたっぷり味わえます。<http://www.city.kesenuma.miyagi.jp>

開催日時：平成21年10月25日（日）

開催場所：気仙沼市魚市場

問合せ先：気仙沼市産業部商工課

TEL:0226-22-6600（内線523）

第30回産業まつり

山形県金山町



金山町の産業物産市として始められた「産業まつり」は、今年30回目を迎える秋の一大イベントです。町内の産業・農産物などが一堂に会して直売される「特産品コーナー」や、つくたてのお餅が振舞われる「餅つきコーナー」をはじめ、特設ステージでは地域伝統芸能や舞踊も披露されます。そして、目玉は何とんでも「焼肉コーナー」。生粋の金山牛に舌鼓を打ちながら仲間と酌み交わす地酒の味は格別です。さらに今回、今話題の「金山育ちの豚肉」が満を持して初登場！魅力倍増の鉄板焼で秋の一日をお楽しみください。

<http://www.town.kaneyama.yamagata.jp>

開催日時：平成21年10月11日（日）

開催場所：金山町町民グラウンド

問合せ先：金山町産業課

TEL:0233-52-2111（内線402）

つくばエクスプレス（TX）沿線
田んぼアート収穫祭

茨城県つくばみらい市



田んぼアートは、同NPO法人がTX守谷駅～みらい平駅間において実施しており、今年で5回目を迎えます。

今年は、TX車輛とメッセージ「あきらめない」、

「都市・自然・知の魅力・・・つくばスタイル」のコミュニケーションマークの2つを表現しました。

昭和30年代の農村の姿を都市住民にも体験学習してもらうことを目的とする同NPO法人の事業のひとつであり、参加者から一口あたり年5,000円の協力費を募り実施しています。収穫祭のほか、田植え、案山子づくりなどのイベントも開催されています。

<http://furuseno.fureai.or.jp/tanbo/>

開催日時：平成21年10月予定

開催場所：つくばみらい市下小目地内及び小張下地内

問合せ先：NPO法人 古瀬の自然と文化を守る会
（事務局：小菅方 電話090-3316-0539）

ふる里さしま古城まつり

茨城県坂東市



ふる里さしま古城まつりは戦国時代の出陣式や行列がメインになり、郷土芸能の演奏、模擬店、新鮮野菜の販売、わんぱく相撲等の催しが行われます。

会場の逆井城跡公園は、史実に基づき整備された歴史公園です。逆井城は、天正5年（1577年）に後北条氏が北関東進出の最前線拠点として築城したものです。現在は、空堀と土塁が残っていますが、測量調査と発掘調査のよって、櫓門、橋、堀、主殿、二層櫓などが復元されています。<http://www.city.bando.lg.jp>

開催日時：平成21年10月11日（日）

開催場所：逆井城跡公園

問合せ先：坂東市商工観光課

TEL：0297-20-8666

ふるさと祭り

群馬県多野郡上野村



農産物の展示即売や十石みそ・木工品など特産品の販売、各種バザーが行われるほか、神楽や獅子舞など伝統芸能の披露、舞踊、観光写真展も同時開催。上野村の味や生活をそっくり楽しんでいただけます。また、有名歌手の歌謡ショー等も行われます。

開催日時：平成21年10月26日（月）

開催場所：国民宿舎がけせらぎ下特設会場

問合せ先：上野村役場総務課

TEL:0274-59-2111

メキシコ彫刻界の巨匠 ラファエル・ゲレロ 展 千葉県市原市

ラファエル・ゲレロ氏の作品約20点を展示しております。

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/>

開催日時：平成21年10月24日(土)～11月23日(月)

開催場所：市原市水と彫刻の丘

問合せ先：TEL:0436-98-1525

2009八千代どーんと祭 千葉県八千代市



「八千代どーんと祭」は、八千代市内の商工業、農業の紹介及び展示会・即売会などを行うことにより、企業と消費者の相互理解を深め、産業の振興と豊かな生活に加え、文化の創造に寄与することを目的とした秋の産業祭です。市内の企業・団体の展示・販売や出店などがあり、特設ステージではキャラクターショーやライブ、ダンス、ゲームなど様々なイベントを行います。なお、主催者発表によりますと、平成20年度は2日間で10万人が訪れました。<http://www.doont.jp/>

開催日時：平成21年10月17日(土)～18日(日)
10:00～16:00

開催場所：八千代総合運動公園多目的広場

問合せ先：八千代どーんと祭実行委員会

TEL:047-483-1771

いんざい産業まつり 千葉県印西市



いんざい産業まつりは、印西市で生産される農産物・畜産物・商工業製品などをみなさんに広く紹介し、顔の見える販売などを通して生産者と消費者との交流を図り、印西の産物を印西で消費する「地産地消」を推進するとともに地域住民のみでなく市外から訪れた方々に印西の農産物などのPRをはじめ、来場者のみなさんが楽しめるイベントを予定しています。

また、地域活性化を目的として、地元で栽培された千葉県の酒造好適米「総の舞」を100%使用した(株)飯沼本家製造による印西のお酒・純米吟醸「夢いんざい」の試飲も行う予定です。

皆様のご来場をお待ちしております。

<http://www.city.inzai.chiba.jp/www/contents/1242691483061/index.html>

開催日時：平成21年11月7日(土)10:00～15:00

開催場所：BIGHOP ガーデンモール印西駐車場内
(印西市原1-2)

問合せ先：印西市産業振興課

TEL:0476-42-5111(内線725)

佐原の大祭秋祭り(諏訪神社秋祭り) 千葉県香取市



小江戸佐原の一大イベント「佐原の大祭」は、関東三大山車祭りの一つと称され、国の重要無形民俗文化財にも指定された約300年の伝統を有するお祭りです。

日本三大囃子「佐原囃子」の音を町中に響かせながら、総勢14台の山車が小江戸と呼ばれる町並みの中を練り歩く様子は風情たっぷり、江戸時代を彷彿とさせます。

自慢の山車は、総擲造りの本体に関東彫りの重厚な彫刻が施され、上部には江戸・明治期の名人人形師によって制作された高さ4mにも及ぶ大人形が乗っています。

<http://www.city.katori.lg.jp/>

開催日時：平成21年10月9日(金)～11日(日)

開催場所：佐原 新宿地区

問合せ先：香取市商工観光課

TEL:0478-54-1111(代)

農業祭 千葉県習志野市



農業祭は、毎年11月に開催され、今年で42回目を迎えます。地域住民と農業者の交流を図り、農業に対する理解を一層深めることを目的としています。

農産物の販売、野菜の宝船の展示、ステージイベント
模擬店、野菜の共進会、大抽選会など様々なイベントを
行います。また、「ガスフェスタ」「健康フェア」
「消防・救急フェア（15日のみ）」も同時に開催され
ます。nousei@city.narashino.chiba.jp

開催日時：平成21年11月14日（土）～15日（日）
開催場所：習志野市市役所前グラウンド
問合せ先：047-453-9217

まつど大農業まつり

千葉県松戸市



秋の実りに感謝し、安全・安心な松戸産の農産物を味
わいましょう。まつど大農業まつりは、市民と農業者の
交流を図り、農業に対する理解と地産地消の推進を目的
に開催されます。新鮮野菜・草花・植木等の販売、模擬
店、ステージイベント、こどもの遊び場、野菜の共進会、
お楽しみプレゼントなど盛りだくさんの企画で皆様のご
来場をお待ちしております。

開催日時：平成21年11月23日（月・祝）
10：00～15：00
開催場所：21世紀の森と広場（つどいの広場）
問合せ先：まつど大農業まつり実行委員会
TEL:047-341-5151

館山市制施行70周年記念「第28回 南総里見まつり」

千葉県館山市



南総里見八犬伝を題材にしたイベントで今年で28回
目を迎えます。一般公募から選ばれた八犬士などの武者
や伏姫・鉄砲隊・槍隊・手作り甲冑隊といった総勢100
名余の武者行列が約2kmの行程を練り歩きます。また、
市内25地区から御船・山車・神輿・屋台が参加し、パ
レードに賑わいを添えます。武者行列が城山公園（館山
城下）に到着すると舞台は戦国時代へタイムスリップ。

鉄砲隊の火縄銃演舞を合図に、北条軍を里見水軍や八
犬士が迎え撃つシーンを再現する、「戦国合戦絵巻」が
行なわれます。http://www2.city.tateyama.chiba.jp/
（館山市ホームページの「市からのお知らせ」イベント」に掲載）

開催日時：平成21年10月18日（日）
開催場所：城山公園、JR内房線館山駅、鶴岡八幡宮など
問合せ先：主催：南総里見まつり実行委員会（館山市
観光協会内）TEL:0470-22-2000
市担当：館山市経済観光部商工観光課
TEL:0470-22-3346

黒潮よさこい祭り2009

千葉県銚子市



市民による手作りの祭りを展開することにより、コ
ミュニケーションの輪を広げ、郷土への愛着心と希望を
もってもらおうと企画した「黒潮よさこい祭り」。今年
で6回目を迎えます。年々参加チームも増え、昨年は、
市内外の40チーム、約1,200人が趣向を凝らした華や
かな衣装で息のあった演舞を披露、2万人の観客を動員
しました。キッズ大会での子供たちの元気な踊りも観客
を楽しませます。フィナーレを飾る出場者全員による総
乱舞の迫力は圧巻です。今年も「くろよさ」で銚子の街
は大いに盛り上がります！http://www.kuroyosa.com

開催日時：平成21年10月11日（日）10:00～17:00
開催場所：銚子市役所前駐車場ほか
問合せ先：黒潮よさこい祭り実行委員会事務局
TEL：0479-25-5889

いすみ市大原ふる里物産まつり

千葉県いすみ市



いすみ市は、太平洋に面し緑豊かな里山があり、新鮮
な食材が豊富なまちです。

毎年開催される「物産まつり」では、これらの農水産
品び商工製品の販売等を行い、市内外の多くの方にご来
場いただいております。

なかでも、全国屈指の水揚げを誇り、千葉ブランド水産
物認定品のイセエビ販売やイセエビ味噌汁の無償配布が
特に人気です。

この他、地元産品が当たる抽選会や各種無償配布等も
実施いたしますので、秋の味覚を満喫してみませんか？
お待ちしております！

開催日時：平成21年10月18日（日）
 開催場所：大原漁港荷捌所
 問合せ先：いすみ市役所農林水産課

千葉県協同組合フェスティバル

千葉県



新鮮でおいしい千葉県の農林水産物を味わい、素晴らしいさを発見し、愛情・愛着をもった「食の宝庫ちば」のファンになっていただく千葉県協同組合フェスティバルが開催されます。県内で生産された安全で安心な農林水産物がたくさん並びます。

千葉県産の農林水産物のPR及び即売、飲食コーナー、搾乳体験なども。午前、午後の各1回「仮面ライダーダブル」ショーやミニ動物園、ミニSLなど親子で楽しめます。雨天中止、入場無料。

開催日時：平成21年10月25日(日)10:00～15:00
 開催場所：千葉ポートパーク円形広場（千葉みなと駅から徒歩10分）
 問合せ先：千葉県農業協同組合中央会
 TEL:043-245-7307

第7回八王子車人形と民俗芸能の公演
東京都八王子市



東京都指定無形文化財である「八王子車人形」「説経浄瑠璃」や八王子市指定無形民俗文化財の「獅子舞」「木遣」を一堂に会し、各演目を2時間余の舞台構成に組み、多くの方に観ていただくことで、地域の伝統文化の理解を深める機会としています。

【演目】
 狭間の獅子舞 「洞入りの舞」
 田守神社の獅子舞 「終庭」
 八王子車人形と説経節 「日高川」

【申し込み等】 定員 1,800名
 往復ハガキで4人までの申し込み可
 宛先：〒192-0154
 八王子市下恩方町1566 西川古柳座内
 八王子指定文化財芸能団体協議会
 開催日時：平成21年11月15日（日）
 開場13:00 開演14:00
 開催場所：八王子市市民会館ホール
 問合せ先：八王子市文化財課
 TEL：042-620-7265

小平グリーンロードウォークと収穫祭
東京都小平市



小平グリーンロードは、水と緑の散歩道として市民に親しまれています。また、「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選ばれており、小平市民に限らず、多くの方が散策を楽しんでいます。

11月に開催する小平グリーンロードウォークでは、色づいた木々の中を楽しみながら散策することができます。ゴール地点の小平中央公園では、収穫祭を開催します。模擬店などでにぎわう会場ですが、一番の人気は地元の新鮮野菜の即売です。JA東京むさし小平支店青年部の地元野菜を使った豚汁も好評です。

秋の一日、小平市を満喫できるイベントです。
 小平市ホームページ・・・
<http://www.city.kodaira.tokyo.jp>
 小平市グリーンロード推進協議会ホームページ・・・
<http://kodairagreenroad.com/>

開催日時：平成21年11月23日（月）
 開催場所：小平グリーンロード、小平中央公園
 問合せ先：小平市市民生活部産業振興課
 グリーンロード係

森林循環フェア2009
～くらしで発見！木の良さ、森の大切さ～
神奈川県



「森林循環フェア」は、山の手入れを行う過程で生産された県産木材を、県民の皆さんに使っていただくことで、再び山の手入れにつなげるという、「森林循環」の取組を普及・啓発するために実施するイベントで、今年で4回目の開催となります。

会場では県産木材製品の展示や小物の販売、小学生等を対象とした木工コンクールの作品展示及び表彰、県産木材製品を使用したパズルなどの体験活動やクイズラリー、その他県産木材を使用して事業を行っている企業や団体等の取組を紹介するブースなど、盛りだくさんの内容が予定されています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sinrin/kitukai/fes/top3.html>

開催日時：平成21年11月6日(金)～8日(日)

開催場所：湘南モールフィル、tvkハウジングプラザ 藤沢

問合せ先：森林循環フェア実行委員会事務局(神奈川県環境農政部森林課県産木材担当)

TEL：045-210-4352

お取越

新潟県三条市



毎年11月の5日から8日までの4日間、真宗大谷派三条別院にて親鸞聖人の命日をしのんで行われる報恩講のことを指しています。

この期間三条別院には市内のみならず市外・県外からも多くの方がお参りに訪れ、本堂内では法話をはじめ様々な行事がとり行なわれています。このお取越にあわせて毎年5日から7日までの間、三条別院から本町通りまで続く本寺小路を中心とした路上に、約80店もの露店が出店します。

<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>

開催日時：平成21年11月5日(木)～8日(日)

開催場所：三条別院～本寺小路周辺

問合せ先：三条市営業戦略室

TEL:0256-34-5511(内線418)

ふるさとしばた「食」と「職」のおまつり 新潟県新発田市



10月10日から11日には、菓子バイキング、物産などの販売、しばたのお菓子や野菜・お惣菜の販売や刀剣研師、染物師、板金職人及び表具師等の実演を始めとする城下町を支える職人の伝統と技が体験できるイベントが開催されます。

<http://www.city.shibata.niigata.jp>

開催日時：平成21年10月10日(土)～11日(日)

開催場所：地域交流センター

問合せ先：新発田市産業振興部観光振興課

TEL：0254-22-3101 内線1644

越後・謙信SAKEまつり2009

新潟県上越市



上越地域には、特徴ある地場産品のひとつとして19の酒蔵で造られる日本酒をはじめ、ワイン、どぶろく、地ビールなど様々な"SAKE"があります。

まつり当日はこれら全酒蔵が出展し、試飲グラスの購入により清酒、ワインの試飲ができ、また、"SAKE"に合う特産品やお土産も数多く販売され、上越の食文化がまるごと味わえます。

さらに、酒蔵が共同で仕込んだ「まつり酒」の限定発売も行うほか、杜氏の皆さんから伝統の酒づくり唄の披露や謙信公武者行列・武袴式、音楽ライブなどイベントも多数開催します。<http://kenshinsake.com>

開催日時：平成21年10月24日(土)～25日(日)

開催場所：上越市本町3・4・5丁目商店街(歩行者天国)

問合せ先：越後・謙信SAKEまつり実行委員会(上越市産業振興課内)

TEL:025-526-5111(内線1265)

越前かにまつり

福井県越前町

越前かに漁は11月6日(金)に解禁となり翌年3月20日(土)まで行われます。越前かにまつりは11月14日(土)・15日(日)の2日間に渡り開催され、越前かにやセイコがにその他新鮮な魚介類の即売とセイコがにを丸ごと一杯入れた「かに汁」が格安で味わえます。その他楽しいイベント盛りだくさんでお待ちしてますのでぜひお越し下さい。

<http://www.echizen-navi.com/>

開催日時：平成21年11月14日(土)～15日(日)

開催場所：アクティブハウス越前駐車場

問合せ先：越前かにまつり実行委員会

TEL:0778-37-1234

郡上八幡城もみじ祭り

岐阜県郡上市



郡上八幡城の紅葉がちょうどピークになる頃に開催されるこのイベント。火縄銃の実演や地元の伝統芸能の披露、茶席、もみじ写真撮影会などのイベントや観光物産展が開催されます。夜間にもみじ庭園と郡上八幡城のライトアップも行われ、城下町から見上げるお城はまさに天空の城。普段はなかなか見ることができない幻想的な風景をお楽しみいただけます。

また、今年は郡上八幡城築城450周年記念イベントも同時開催されます。

<http://www.gujohachiman.com/>

開催日時：平成21年11月14日(土)～15日(日)

開催場所：郡上八幡城周辺

問合せ先：郡上八幡産業振興公社

川辺ふれ愛まつり2009

岐阜県川辺町



町の産業・文化の振興と発展を図る目的で昭和57年から始まり、今年で28回目となります。内容は、町内各種団体による展示や即売会、ミニ商店街、農産物品評会や即売会、ステージショー、産業展、芸能発表会、健康福祉フェア、エコチャレンジ～わくわく環境ひろば、川辺町と友好のある福井県美浜町による海産物試食会や販売など、盛りだくさんのイベントです。

<http://www.kawabe-gifu.jp/>

開催日時：平成21年11月21日(土)～11月22日(日)
両日とも 10:00-15:00

開催場所：川辺町役場駐車場、
保健センター及び中央公民館

問合せ先：川辺町産業環境課

TEL:0574-53-2511(143)

ふれあい2009大野まつり

岐阜県大野町



大野町では香り高い文化の高揚と産業の発展をめざし、関係機関、各種団体及び町民一人ひとりの参加と協力を得て、毎年「大野まつり」を開催しています。32回目を迎える今回は、文化団体による絵画・生け花等の作品展示、各種文化サークルの発表会に加え、グライダーの体験飛行などの各種催しや、地元商工会による物産販売などを行います。まつりの終盤には「もちまき」も行い、町内外からご来場者をもてなします。

開催日時：平成21年10月3日(土)～4日(日)

開催場所：大野町総合町民センター周辺

問合せ先：大野町役場 産業経済課

TEL:0585-34-1111

2009いびがわマラソン

岐阜県揖斐川町



昨年は約8,700名という多くの方に申込みいただき、月刊誌「ランナーズ」の大会レポでは全国第3位の大会となりました。今年も大会前には金哲彦コーチの「ハーフマラソン完走教室」を開催し、当日はスペシャルアドバイザーの高橋尚子さんをお迎えします。

また、フルの制限時間を5時間半に延長し、参加賞を選択性にするなど、チェンジの年として新たなスタートを切ります。会場からは温泉や「日本一美しい徳山ダム」へのバスも運行され、バザー会場では特産品を味わうこともでき、ランナーはもちろん、ボランティア、応援の方々にとっても魅力的な大会です。『おもてなしの心』で今年もみなさまをお待ちしております。

<http://www.town.ibigawa.gifu.jp/>

<http://www.ibigawa-marathon.jp/>

開催日時：平成21年11月8日（日）

開催場所：揖斐川町地内

問合せ先：いびがわマラソン実行委員会事務局

TEL: (0585) 23-0117

東栄フェスティバル

愛知県北設楽郡東栄町



東栄町に伝わる国の重要無形民俗文化財に指定されている「花祭り」のダイジェスト版の他チェンソーアート実演などのイベントが行われます。

会場では地元の郷土食である「五平餅」を始めとした各種特産品の販売なども行われます。

<http://www.town.toei.aichi.jp/>

開催日時：平成21年11月3日（火・祝）

開催場所：東栄ドーム（東栄町本郷）

問合せ先：東栄町役場経済課

TEL: 0536-76-1812

小原四季桜まつり

愛知県豊田市



小原四季桜まつりは、自然、伝統文化、歴史が調和する観光地「小原」のイメージアップを図るため、毎年この時期（11月1日～30日）に開催しており、今年で13回目。第1会場となる小原ふれあい公園では、地元で採れた野菜、特産品などの販売コーナーを設け、地域住民が一体となって来場者をもてなします。また、会場周辺の300本の四季桜の中をゆっくりと散策することができます。その他にも、県指定天然記念物で樹齢百有余年の四季桜や、1,200本の四季桜の中を散策できるスポットなどもあり、豊かな自然の中で紅葉と四季桜の織り成すコントラストを楽しみながら、小原の秋を満喫することができます。

[http://www.kankou-](http://www.kankou-obara.toyota.aichi.jp/index.html)

[obara.toyota.aichi.jp/index.html](http://www.kankou-obara.toyota.aichi.jp/index.html)

開催日時：平成21年11月1日（日）～30日（月）
内特別イベント開催日時

平成21年11月1日（日）オープニングイベント

11月8日（日）メインイベント

11月22日（日）ハッピーイベント

開催場所：ふれあい公園和紙のふるさと川見四季桜公園北部生活改善センター

問合せ先：小原観光協会 TEL:0565-65-2540

観光・四季桜まつりの問合せ

TEL: 0565-65-3808

斧磨明神おどり

滋賀県愛荘町



愛荘町斧磨に古くから伝わる雨乞いの「明神踊り」。斧磨には明神社という雨乞いで知られる神社があり、大正13年に80日間ほど雨が降らず田畑が枯死寸前になったとき、かねや太鼓を持って雨乞い踊りが行われました。その結果多くの雨が降り、そのお礼参りにと八幡神社境内で雨乞い踊りが行われたのを最後に途絶えてしまいました。

平成元年にこの明神踊りを復活させようと字民が集まり「明神踊り保存会」を結成。平成2年にみごと明神踊りを復元され、それ以来、水に感謝する踊りとして、また、愛荘町の郷土芸能として毎年奉納されています。男性は白装束で竹製の「ホロ」を背負い、女性は紫色の着物で「花笠」を持って踊ります。

例年、多くの人が見学を訪れ、伝統ある踊りとともに、深まりゆく秋のひと時を楽しんでいます。

開催日時：平成21年11月15日（日）

開催場所：斧磨

問合せ先：愛荘町農林商工課

TEL:0749-37-8051

**印南野そば倶楽部主催の
『そば in 田園コンサート』
兵庫県稲美町**



倶楽部のそばは、稲美町印南地区の部員30名が約70アールで栽培しています。粘りとこしがあり、香りが強いのが特徴です。順調に生育したそばは、10月下旬に刈取られます。

来場者は、同倶楽部が早朝より打ったそば400食をはじめ、豚汁や、地場特産米の新米「万葉の香」のおにぎりを味わいながらコンサートを楽しんでいただきます。この他、地元特産品が当たる大抽選会もあり、毎年会場は賑わいをみせています。同倶楽部の井上貞夫代表は「収穫したてのそばの香りを楽しんでもらい、今後もこの催しを続けていきたい」と意気込んでいます。

開催日時：平成21年11月8日（日）

開催場所：そば倶楽部会長のハウス内

問合せ先：（仮）稲美町産業課

TEL：079-492-1212（内線134）

**春日神社秋祭り「暴れ太鼓」
兵庫県西脇市**



春日神社の歴史は、今から1,130年余り昔まで遡ると伝えられています。その春日神社が、1年のうちで最も賑わうのが、毎年10月の体育の日の前日に行われる秋祭りです。

秋祭りでは、2基の練太鼓が、昔ながらの腰巻に兵児帯、地下足袋姿の練り子に担がれ、打出しより下向まで担ぎ通して祭りを祝います。特に宮入り、馬場先における練り合わせは、太鼓を激しく左右に繰り返して横転させ、通称「暴れ太鼓」の名の通り暴れぶりを披露します。

この「暴れ太鼓」は、その昔、大阪天神祭の催太鼓を模して始まったと伝えられます。

<http://www.eonet.ne.jp/gii/introduction/>

開催日時：宵宮 平成21年10月10日（土）

本宮 平成21年10月11日（日）

開催場所：兵庫県西脇市高田井町「春日神社」及び周辺

問合せ先：西脇市観光協会

（西脇市建設経済部商工労政課内）

TEL：0795-22-3111（代）

**第19回大中遺跡まつり
兵庫県播磨町**



国指定史跡「大中遺跡」で、第19回大中遺跡まつりを開催します。今年のテーマは、「オボナカムラ 彩発見！」（オボナカムラは、「大中村」の古代語）。

大中村では、卑弥呼の行列、ジャンボ舞ぎりによる火起しや和のおどりによる幻想的な火納めなど、彩り豊かな催しが行われます。ステージでは、古代の衣装を身にまとった人々による踊りや演奏が楽しめます。また、まが玉や土笛づくり、海水からの塩づくり、赤米の試食会、弓矢を使いたいのでしし狩りなど古代の多彩な生活体験。古代食や郷土料理などのお店も軒をつらね、古代ムードでいっぱいです。

<http://www.town.harima.lg.jp>

開催日時：平成21年11月7日（土）

10:00～17:15

開催場所：播磨大中国古代の村（大中遺跡公園内）

問合せ先：大中遺跡まつり実行委員会

（播磨町郷土資料館内）

TEL：079-435-5000

みのりの祭典

兵庫県神戸市

今年で43回目を迎えるみのりの祭典は、市内農水産物を一堂に集めた『秋の収穫感謝祭』として開催しております。

神戸ブランド（野菜、花、ワイン、チーズ、みそなど）の販売や、「神戸の牛コンテスト」、「牛の乳搾り体験」、「魚のタッチングプール」、「バター作り体験」などの市民参加型のイベント、また、伝統芸能などのステージアトラクションを実施し、「市内農漁業のPR」と「都市と農村の交流」を図っています。

開催日時：平成21年11月3日（火・祝）

10:00～16:00

開催場所：湊川公園

問合せ先：神戸市産業振興局農水産課

TEL：078-322-5355

ひょうご皮革総合フェア2009
& 第18回たつの市皮革まつり

兵庫県たつの市



たつの市の地場産業として歴史のある皮革産業、天然皮革素材のすばらしさを、見て・触って・感じてください。（イベント内容：高校生によるレザーファッションショー、学生による皮革製品の展示、楽しいレザークラフト教室、皮革製品の抽選会、青空市など）

<http://www.city.tatsuno.hyogo.jp/>

開催日時：平成21年11月21日（土）～22日（日）

開催場所：赤とんぼ文化ホール

問合せ先：たつの市産業部商工観光課

第17回白旗城まつり

兵庫県上郡町



白旗城まつりは、上郡町の偉人、中世の武将「赤松円心」の偉業を称え、赤松氏の本城である白旗城の国史跡指定申請を契機に、白旗城をはじめとする史跡・歴史遺産を紹介するために始まりました。

今年も白旗城跡登山や宝林寺・法雲寺などの史跡めぐりを行います。おまつり広場では、各種模擬店や地元で収穫した野菜などを販売する青空市場が出店し、ステージイベントも開催します。会場の隣には、赤松の郷昆虫文化館も開館しており、入館料は無料で貴重な昆虫に関するたくさんの展示品を見学することができます。

<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>

開催日時：平成21年11月23日（月・祝）

開催場所：赤松自治会健康広場（国道373号線）

問合せ先：町立赤松公民館

TEL:0791-52-4605

姫路市農林漁業まつり

兵庫県姫路市



農林水産業や生産物に対する理解を深め、農山漁村の豊かな自然とのふれあいや都市との交流の場を提供するためのまつりで、今年で18回目となります。

地元特産品等のPR・啓発コーナー、新鮮野菜や切り花・海産物・農産加工品の販売を行なうふるさと物産即売コーナー、食コーナー、子供木工教室・カニ釣り・いも堀りなどが楽しめるふれあいコーナーなどがあります。

その他、農業・園芸資材や肥料等の展示販売、国産牛や国産豚の試食や折紙飛行機大会、岡山市・鳥取市物産コーナーやふれあい動物園、移動水族館も予定しています。

http://www.city.himeji.lg.jp/sosiki/info_kankyo.html（10月上旬にUP予定）

開催日時：平成21年11月7日（土）～8日（日）

10:00～15:00

開催場所：姫路市農業振興センター

問合せ先：姫路市農業振興センター

TEL:079-263-2220

姫路市農政総務課

TEL:079-221-2492

**明日香まるごと体験ウォーク・
西明日香コース 奈良県明日香村**



史跡めぐりと農業体験がドッキング！旬の農産物の収穫体験を盛り込んだウォークイベント「明日香まるごと体験ウォーク」を今年の秋も開催します。

約7kmのコース途中では、大根・ほうれん草、コスモスなどの収穫体験と、柿・黒枝豆の直売の他、郷土料理「飛鳥鍋」のふるまい、採れたて野菜を使った手作りお弁当の販売もあって秋の味覚が盛りだくさん！

実りの秋、食欲の秋、ハイキングしながら味覚狩りを楽しんでみませんか？

<http://www.asukamura.jp/>

開催日時：平成21年11月3日（火・祝）

開催場所：明日香村内

問合せ先：明日香村地域づくり課

TEL:0744-54-3351

**第3回大収穫祭 I N九度山
和歌山県九度山町**



大収穫祭 I N九度山は、本町特産の「日本一の九度山の富有柿」を周辺地域にPRするイベントで本年度3回目を迎えます。

会場内は富有柿を中心とした農産物や飲食物の販売コーナー・フリーマーケット等、またステージにはヒーローショーや太鼓・ダンス・来場者参加型のイベントなど、大人から子どもまでが楽しめます。

昨年度は2日間で15,000人の来場で賑わいました。ぜひ秋の味覚を求めてお越しください。

<http://www.town.kudoyama.wakayama.jp>

開催日時：平成21年11月14日（土）～15日（日）

開催場所：九度山町入郷駐車場

問合せ先：大収穫祭 I N九度山実行委員会事務局
（九度山町産業振興課内）

**有田川町どんどんまつり
和歌山県有田川町**



毎年10月第3土・日に開催するこの祭りは、文化祭・農業者と住民のふれあう交流会・健康フェア・商工フェスティバル・標高587m町の最高峰鷲ヶ峰コスモスパークまでの10kmを駆け上がるマラソン・町の特産品をPRする観光フェアを同時に開催します。

他にフリーマーケットやダンスコンテスト・キャラクターショーなどで賑やかさと躍動感に包み込み、将来に向かって「どんどん」伸びゆく町をPRし、町民の志気と町の景気を浮上させようというのが設立の趣旨であります。祭りのフィナーレを飾る花火大会は、30分間に1,500発と迫力満点です。

<http://www.town.aridagawa.lg.jp>

開催日時：平成21年10月17日（土）～18日（日）

開催場所：花の里河川公園周辺

問合せ先：有田川町産業課

TEL:0737-32-3111（内線241）

**倉敷屏風祭
岡山県倉敷市**



わが家のおひろめ祭。

その昔阿智神社の祭礼は、別名で屏風祭とも呼ばれていました。町内各家が、通りに面した格子戸を外し、屏風を飾り、花を生けて人々をもてなしたといわれます。人々との心のふれあいや語らいを楽しんだ良き昔の思い出をたどり、その伝統を現代に生かすべく、平成14年に「倉敷屏風祭」として復活いたしました。この度、往時の町並みの姿を色濃く残す、本町から東町にかけての商家・民家で屏風や各家の家宝の品々が飾られ、また美観地区界限では協賛展示をしております。各家々の心づくしの「おひろめ祭」をお楽しみください。

<http://www.kurashiki-tmo.gr.jp>

開催日時：平成21年10月17日（土）～18日（日）

開催場所：本町、東町周辺

問合せ先：倉敷屏風祭実行委員会（倉敷商工会議所）
086-424-2111（代）

広島城大菊花展

広島県広島市中区



秋の風物詩である菊花展を開催することにより、観光客を積極的に誘致し、広島城のPRと入館者の増加を図るとともに、菊づくりや菊の観賞を通じて緑化に関する市民意識を醸成することを目的に開催されます。

開催日時：平成21年10月24日(土)

～11月8日(日)

開催場所：広島市中区基町 広島城二の丸、三の丸

問合せ先：広島祭委員会082-247-6805

第38回丸亀城菊花展

香川県丸亀市



丸亀の菊の普及促進に努める趣旨のもと、丸亀城菊花展が丸亀市及び丸亀市菊花同好会の主催により、今年で38回目の開催を迎えます。史跡丸亀城の大手門広場ブースにて、大菊の部「花壇(厚物)」など5部門、小菊の部「盆栽」「懸崖」など4部門、その他自由花壇、自由作品の総数800鉢が出展されます。菊花の色彩・調和・気品といった美の競演をぜひご堪能ください。

なお、開催初日には市民の誇り「丸亀城」にスポットを当て文化行事等を行なう『丸亀城フェスタ2009』も開催されます。

開催日時：平成21年10月18日(日)

～11月13日(金)

開催場所：亀山公園(丸亀城)内 大手門広場

問合せ先：丸亀市都市経済部商工観光課

TEL:0877-24-8816

金唐紙制作体験

広島県呉市



国の重要文化財である旧呉鎮守府司令長官官舎洋館部の壁紙として使用されている「金唐紙」。全国的にも希少な美術工芸品を上田尚氏(国選定保存技術保持者)の指導のもと、参加者が制作体験できます。材料費は2000円で各日10名程度。事前の申し込みが必要となっています。

<http://www.kurenavi.jp/html/m000001.html>

開催日時：平成21年11月13日(金)～15日(日)

各日10:00～15:00

開催場所：入船山記念館

問合せ先：呉市入船山記念館

TEL:0823-21-1037(内線4057)

秋の砥部焼まつり

愛媛県砥部町



国の伝統的工芸品であり、砥部町を代表する「砥部焼」により親しんでいただくため、砥部焼伝統産業会館周辺を歩行者天国にし、約50件の窯元が路上に飛び出し、砥部焼を格安で直接販売いたします。

その他、会場内では来場者が値段を付ける「砥部焼オークション」や特産品販売など、多彩なイベントが行われます。<http://www.town.tobe.ehime.jp/>

開催日時：平成21年11月7日(土)～8日(日)

開催場所：砥部焼伝統産業会館周辺

問合せ先：砥部町産業建設課

089-962-7288

第20回 芸西村琴ヶ浜松原観月の宴 高知県安芸郡芸西村



雄大な太平洋から白い波が打ち寄せる芸西村琴ヶ浜。延々と続く松林をバックに、太鼓の演奏に耳を傾けながら、お月見を楽しんでいただくイベント。篝(かがり)火(び)に映し出された勇壮(ゆうそう)な太鼓の演奏は圧巻です。

他では味わえない贅沢な時間を満喫できることと思います。

開催日時：平成21年10月3日(土) 予定

開催場所：琴ヶ浜野外劇場

問合せ先：観月の宴実行委員会事務局
(0887) 33-2114

ふる里かわら秋まつり

福岡県香春町

香春町役場駐車場をメイン会場に町内の商店、農産物直売所が特設テントに一斉集まり、即売所やフリーマーケット、ステージショー等さまざまなイベントを開催します。

<http://www.town.kawara.fukuoka.jp/index2.html>

開催日時：平成21年11月1日(日)～2日(月)

開催場所：香春町役場敷地内

問合せ先：香春町観光協会

TEL：0947-49-6037

合志市民まつり

熊本県合津市

合志市民の交流や親睦と、地域産業の振興を図ることを目的に、今年も熊本県農業公園カントリーパークで、合志市民まつりを開催します。

フリーマーケットや地元事業者などによる出店販売や展示、農業・産業イベントや市民参加によるステージイベントなど様々な催し物を企画しています。

市民の方はもちろん、市外の方もご来場をお待ちしております。

開催日時：平成21年10月4日(日)

開催場所：熊本県農業公園カントリーパーク

問合せ先：合志市産業振興部商工振興課
商工・企業誘致班

天草西海岸陶芸まつり

熊本県



天草西海岸一帯は日本一といわれる天草陶石の産地として知られており、この天草陶石を使って焼かれる天草陶磁器は、平成15年3月に伝統工芸品としての国の指定を受けました。

苓北町及び天草市天草町の各窯元では、良質な天草陶石を使った透明感のある純白の作品や、木灰釉の温かみのある作品といった伝統を守りつ

つ、消費者の趣向を捉えた作品づくりに取り組んでおり、その成果発表の場として「天草西海岸陶芸まつり」を毎年秋に開催しています。

<http://www.reihoku-kumamoto.jp/>

開催日時：平成21年10月9日(金)～13日(水)

開催場所：苓北町及び天草市天草町の12窯元
(11会場)

問合せ先：苓北町役場産業振興課

TEL：0969-35-1111

おくんち祭

熊本県人吉市

昨年6月に国宝指定された青井阿蘇神社の例大祭。古来より誠にめでたいとされてきた陽の最高の数が重なる重陽の日に神様が御鎮座された縁日をお祝いする、いくなれば神社の誕生日のお祭です。

大祭期間中には、火災の禍がないように祈願する3日の鎮火祭や、国選択の民俗無形文化財である8日の球磨神楽の奉納、メインとなる9日の神幸式では、神幸行列が市内を練り歩きます。

長い歴史の中に育まれてきた伝統文化やしきたりが大切に受け継がれている祭です。

<http://www.aoisan.jp/>

開催日時：平成21年10月3日(土)～11日(日)

開催場所：青井阿蘇神社

問合せ先：青井阿蘇神社奉賛会

TEL：0966-22-3771

ゆのまえ漫画フェスタ

熊本県湯前町



本町出身の風刺漫画家那須良輔氏を記念した風刺漫画コンクールの表彰式・アニメ映画の上映・芸能歌謡ショー・キャラクターショー・町特産品が当たるお楽しみ抽選会・地元産黒毛和牛の格安販売などのある畜産まつり他、盛りだくさんの企画をご用意しております。町全体が一体となつてとにかく盛り上がるお祭りです。

<http://www.yunomae.com/>

開催日時：平成21年11月8日(日)

開催場所：まんが美術館周辺一帯

問合せ先：湯前町役場商工観光課

TEL:0966-43-4111(内線220・221)

第10回たけた竹灯籠「竹楽(ちくらく)」 大分県竹田市



たけた竹灯籠「竹楽」は、城下町一円を2万本の竹灯籠で飾る竹田市の里山保全事業と竹の活用の一環として始まった秋の風物詩。十六羅漢や武家屋敷通りなど、情緒ある建造物と共に城下町が幻想的な光で包まれる。

竹灯籠の点火後は、街角で笙や琴のコンサートが開かれる。期間中はギャラリーの開放など、秋の夜長を楽しめる催事が多数あり、コンサート等も観覧無料です。

竹田市歴史資料館の駐車場には屋台村が登場し、だんご汁やシシ汁など郷土料理が味わえます。

<http://www2.city.taketa.oita.jp/tikuraku/>

開催日時：平成21年11月20日(金)～22日(日)

開催場所：竹田市城下町一円

問合せ先：NPO法人 里山保全竹活用百人会

TEL 0974-63-2638

(竹田市観光ツーリズム協会 竹田支部内)

椎葉平家まつり 2009

宮崎県椎葉村



今年も「椎葉平家まつり2009」が11月6日から8日にかけて開催されます。このまつりは、平家討伐の命を受けて椎葉を訪れた源氏の武士那須大八郎と平清盛の末裔言われている鶴富姫との悲恋伝説を元に、壇ノ浦の戦いからちょうど800年にあたる昭和60年から始まりました。

見所は、勇ましい姿の源氏方ときらびやかな衣装をまとった平家方の大和絵巻武者行列で、毎日多くの見物客で賑わいます。また、その他色んなイベントも開催されます。

<http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp>

開催日時：平成21年11月6日(金)(18:00)～

8日(日)(15:30)

開催場所：椎葉村役場横駐車場・上椎葉街道

問合せ先：TEL:0982-67-3203

かかしフェスティバル

宮崎県都城市



古来より五穀豊穡の祈りを込めて作られ、雨の日でも日照りの日でも田んぼの中で鳥を追いながら、日々の仕事ぶりを眺めてきた田園の愛嬌者“かかし”。今では懐かしいものとなったこの風景の主役である“かかし”が一堂に集まりコンテストを行います。

平成5年には全国かかしフェスティバルも開催されました。農産物の展示即売、文化芸術展、ステージイベントなどが開催され、おおいに盛り上がります。創意工夫凝らした、ユニークなかかしが勢揃いするイベントです。ぜひ足を運んでみては。

開催日時：平成21年9月27日(日)～10月9日(金)

開催場所：一堂ヶ丘公園

問合せ先：TEL:0986-64-1111

愛媛県内子町での景観法（景観農業振興地域整備計画）活用に向けた取組 （農村景観応援団 横張団員との意見交換会を中心に）

はじめに

景観法は、平成16年6月、日本ではじめての景観に関する総合的な法律として制定されました。

法は、都市、農山漁村、自然公園等国土全域を対象としており、農山村地域における景観法の活用として、農用地や農業用施設等を対象とした「景観農業振興地域整備計画」（1）を用意しています。

農林水産省では、農山村地域に貴重な景観資源を持っている市町村での計画の活用が、地域の景観を保全・活用する上で有効な手段であることから、一つでも多くの地域で計画が活用されるよう、支援に努めているところです。

そこで、今回は、愛媛県内子町での本計画策定に向けた取組状況について御紹介します。

内子町の概要

内子町は、愛媛県のほぼ中央部、県都松山市から南西へ約40kmの地点に位置しています。

平成17年1月には、旧内子町・旧五十崎町・旧小田町の三町が合併し、新内子町（人口21,000人余、約7,000世帯）として新たに発足しました。

平地部は少ないものの、豊かな水に恵まれているため、果樹や葉たばこの栽培や杉や桧等の木材生産が盛んです。

また、豊かな自然をはじめとする地域の資源を活用し、農産物の直売、農家民泊、グリーンツーリズムなどによる都市住民との交流活動を積極的に実施しており、農林水産業を核とした地域の活性化に取り組んでいます。

平成18年には、優れた景観づくりを行っている農山漁村の取組みを表彰する第1回「美の里づくりコンクール」において、町内の「石畳を思う会」と「石畳自治会」が農林水産大臣賞を受賞しました。



（シダレ桜）



（屋根つき木橋（田丸橋））

石畳地区（第1回「美の里づくりコンクール」受賞地区）

景観法活用に向けた取り組み

県内では平成20年11月現在、中核市の松山市を含め18市町が景観行政団体（2）となっています。

内子町は、平成17年10月に景観行政団体としての指定を受け、平成20年6月に「内子町景観まちづくり計画」（3）を策定しました。

計画では、地域の歴史的町並み、農山村の景観や文化の村並み、自然の山並みなどの景観特性を活かし、持続的に発展する地域づくりを目標に掲げ、その展開を図ることとしています。

さらに、農山村部においては、地域を里地里山地域、棚田地域、集団営農地域、その他点在地域に分類し、魅力ある景観として保全、創出を図ることとしており、これらの取組をより具現化するため、景観農業振興地域整備計画の策定に向けた取組を進めています。

このため、本年はじめには、参川集落において農林水産省が事務局を務める「農村景観応援団」の横張団員（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）をお招きし、講演、住民の方々との意見交換会を実施しました（4）。

意見交換会では、地域住民の方から地域を大事にする思いなど、多くの意見が述べられました。

- 1…棚田など農山漁村地域に特有の良好な景観の形成を図るため定められる計画（法第55条）
- 2…良好な景観形成のため、具体的な施策を実施していく自治体。都道府県、政令指定都市、中核市は、自動的に景観行政団体となり、その他の市町村は都道府県へ協議し、同意を得て景観行政団体になる（法第7条）
- 3…施策を実施していくための景観に関する基本計画のことで、区域、良好な景観形成の方針、建設等の行為の制限事項等を定める（法第8条）
- 4…横張団員による講演の内容は、以下HP参照 http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukei/binosato/b_ouendan/index.html

地域住民からの意見

この地域は、景観がいいところで、水もきれいで緑も豊かな地域。具体的に今、何をどうするかと言われると、どこからどう手を付けていったらいいのか、また、ある程度の経費もかかることも想定され、地域の住民が本当にそこまで域が達するかどうかという点が心配。

しかし、都市部の人話を聞いていると「地元にもいいものがたくさんあるじゃないかと、私たちが気が付かないものを逆に教えてもらう部分もある。

自分たちの住んでいるところは、他の町村、他の県と比べて、果たしてどういうところが本当に魅力的なのかなかなかつかみどころがない状況。

少子高齢化も進み、山村で住みづらい状況になってきている。そういう中で、住んでよかった、こういうところに住みたいと言われるような、空気、水がきれいで人も良い地域であればと思う。

何十年も見慣れたところを見て、どういったところがいいのかというのは実際の問題として分からないが、そういったものが見えてくれば力も湧き、地域の総合力も発揮できるのではない。

地域には資源としていいものがたくさんある。これに地域の人が気づき、自信を持って磨いていけば、いい地域になるし、交流も盛んになり、活性化にもつながる。

横張団員からのコメント

都市部の人間にとって本当に魅力的な田舎とは、そこに暮らしている人たちが楽しんで暮らしていること。

言い方を換えれば、都市の人間の言うとおりに、何でもサービスを提供しますというところにはあまり魅力がない。

そこに暮らしている人が楽しく暮らしていて、そこにたまたま訪れた都市の人間がちょっと仲間に入れてもらえるというようなところに一番魅力を感じる。

景観を整備していくというのは、結果として何を作るのか作らないのか、守るのか守らないのかではなく、皆さんがどうやって、何を選択していくのか、どういう答えを出していくのかということ。その過程にこそ意味がある。

何かできればいいじゃないか、あれを守ればいいんだろうということではなく、どういう過程を踏んで、皆さんがある答えに行き着くのが一番大事。しっかり時間をかけて取り組んでいただきたい。



参川集落での
意見交換会



緑豊かな参川集落

おわりに（景観農業振興地域整備計画の適用に向けて）

農山村の景観は、地域の人々が日々の暮らし、農業の営みを通じて、自然に働きかけながら永い年月をかけて創りだしてきたものであり、その土地ごとの自然、農林業、伝統文化などが一体となって醸成されることから、景観の保全・形成に向けた活動を計画にとりまとめ、地域一体となって取り組んでいくためには、地域住民の理解と協力が不可欠です。

現在、景観農業振興地域整備計画は、滋賀県近江八幡市、岩手県一関市で策定されていますが、この2地域も、何回も住民が集まり、ワークショップを重ねるなど、地域内の合意形成を図るための努力を時間をかけて取り組んできました。

これは、計画自体が地域の農業や暮らしに密接に関わっているからであり、実効性のあるものとするために、地域の中で取り組むべき事項、何が出来るのかということ、十分に考えてきた結果だと言えます。

内子町においても、現在、計画策定に向けた取組が着実に進められています。

今後は、計画がしっかりと組み立てられ、景観という地域資源を活かしつつ、持続的な農業の推進と地域の活性化に結びつくよう、取組を実践していただければと思います。

また、景観農業振興地域整備計画の策定や活用に関して、ご不明な点や要望などがございましたら、下記宛先にお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】農村振興局 農村政策部 農村計画課
担当者：土地利用計画班：03-3501-6004（ダイヤルイン）

事務局からのお知らせ

皆様からの情報提供をお待ちしております！

「交流情報誌 季刊 新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など、全国に向けて発信したい情報がありましたら、ぜひご連絡下さい。

次号（第35号）の発行は、平成21年12月中旬を予定しておりますので、記入様式に必要事項をご記入の上、10月下旬までに各都道府県又は下記の編集・発行元までお送り下さい。記事に関連する写真・イラストがありましたら併せてお寄せ下さい。記入様式をご要望の場合は、お手数ですが下記の編集・発行元までご連絡下さい。

皆様からお寄せいただいた情報についてはできる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

編集後記

現在、都市と農村の間では、「企業の森」や「棚田保全活動」といった社会貢献活動や地域の食材を活かした「農産物加工」や「グリーンツーリズム」といったアグリビジネスなど、様々な協働活動が生まれています。

しかし、一方では、協働活動に興味はあるものの、どのように作り出し、推進していけばいいのか分からないという声もよく聞かれます。

このため、農林水産省では、都市と農村を結びつけ、協働活動を支えるコーディネーターの役割や都市と農村の協働活動の事例を紹介したパンフレットを作成しました。

下記のHPに掲載していますので、興味のある方はぜひごらんいただき、都市と農村との協働活動に取り組んでみてはいかがでしょうか。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/noukei/communit/index.html>



特集記事募集

次号特集では、「企業・大学・NPO等の参入・連携による地域活性化への取組」について募集します！
みなさまからの情報お待ちしております。

編集・発行

農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村計画課 農村政策班
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL:03-3502-6001(ダイヤルイン)
FAX:03-3501-9580

- 農林水産省のホームページでは、季刊「新往来」や都市と農山漁村の共生・対流など、様々な情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

農林水産省（<http://www.maff.go.jp>） 農村振興 都市と農山漁村の共生・対流（季刊 新往来）
（<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>）

